

第17回「県内企業景気動向調査」結果 (平成20年11月調査)

【要 旨】

- 業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲31.0となっており、前回より4.2ポイント低下するなど、引き続き悪化している。
- 業種別では、前回大幅にDI値が低下した製造業で引き続き低い水準であったが、今回は卸・小売業やサービス業でも景気悪化の影響を受けて軒並みDI値が低下するなど、景気悪化の影響が内需関連業種にも飛び火した格好となった。
- 地域別では、村山南部と村山北部、庄内飽海で景気悪化の兆しがみられるなど、各地で景気の後退が進んでいる。
- 景気の先行き見通しは、自社の業況DI値が14.4ポイント低下して▲45.4となるなど、引き続き先行き不安感が拡大している。
- なお、調査の概要は次の通り。
アンケート：平成20年11月4日（火）～17日（月）、465社（回答率52.0%）
ヒアリング：平成20年12月1日（月）～12日（金）、22社

平成20年12月

株式会社荘銀総合研究所

目次

1.	本県の景気動向	1
(1)	概況	1
(2)	業種別の業況	2
①	建設業	2
②	製造業	4
③	卸・小売業	6
④	サービス業	8
2.	各地の景気動向	10
(1)	各地の概況	10
(2)	地域別・業種別の業況	11
①	村山南部	11
②	村山北部	12
③	最上	13
④	置賜	14
⑤	庄内田川	15
⑥	庄内飽海	16
3.	景気の天気図	17
4.	景気動向に関して特に関心を寄せていること	18
5.	特別調査：冬季ボーナスの支給動向について	19
	<参考資料Ⅰ：アンケート調査単純集計結果>	21
	図表Ⅰ－1 結果の概要	21
	図表Ⅰ－2 自社の業況	22
	図表Ⅰ－3 業界の業況	23
	図表Ⅰ－4 売上高、完成工事高（建設業）	24
	図表Ⅰ－5 営業利益	25
	図表Ⅰ－6 人員や人手	26
	図表Ⅰ－7 資金繰り	27
	図表Ⅰ－8 在庫状況（製造業、卸・小売業）	28
	図表Ⅰ－9 手持工事高（建設業）	28
	図表Ⅰ－10 原材料仕入価格（製造業）	29
	図表Ⅰ－11 製（商）品の仕入価格（卸・小売業）	29
	<参考資料Ⅱ：基調判断用語の凡例>	30
	<参考資料Ⅲ：調査の概要>	31

1. 本県の景気動向

(1) 概況

現状判断：悪化している。

業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲31.0となっており、前回より4.2ポイント低下するなど、引き続き悪化している。

世界経済の減速を受けて内・外需ともに冷え込んでいることから、県内企業の業況も一段と厳しさを増している。特に夏以降、売上の落ち込みが顕著になっていることから製造業を中心に大幅な生産調整が行われているが、人員の過剰感は依然として解消していない。今期の人員・人手DI値は▲9.2となっている。

業種別では、前回大幅にDI値が低下した製造業で引き続き低い水準であったが、今回は卸・小売業やサービス業でも景気悪化の影響を受けて軒並みDI値が低下するなど、景気悪化の影響が内需関連業種にも飛び火した格好となった。

また、地域別でも、村山南部と村山北部、庄内飽海で景気悪化の兆しがみられるなど、各地で景気の後退が進んでいる。

先行き見通し：先行き不安感が拡大。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が14.4ポイント低下して▲45.4となるなど、引き続き先行き不安感が拡大している。

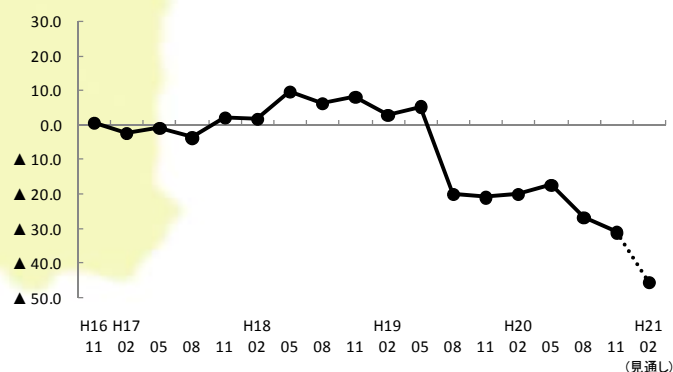
業種別では、建設需要の落ち込みが懸念される建設業で最も暗い見通しとなったほか、業況悪化が著しい卸・小売業やサービス業など内需関連業種で先行き不安感が拡大している。また、製造業も先行き慎重な見方が趨勢を占めており、大幅な復調を期待できる状況にはない。

地域別では、全体的に弱含みの展開となる模様だが、山形市を中心とする村山南部や鶴岡市を中心とする庄内田川などで大幅な悪化予想となっており、注意深く見守る必要がある。

図表1-1 現状判断と先行き見通し(各DI値の動向)

(前年同期比) (調査時点)	自社業況				
	(前期比)	売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
H 19.11	▲20.9 (▲11.7)	▲14.7	▲21.8	6.9	▲18.6
H 20.02	▲19.9 (▲14.0)	▲12.3	▲27.9	▲1.5	▲23.3
H 20.05	▲17.5 (▲23.5)	▲6.0	▲21.5	▲6.7	▲22.9
H 20.08	▲26.8 (▲22.1)	▲10.8	▲26.2	▲7.6	▲24.0
H 20.11	▲31.0 (▲23.4)	▲23.7	▲33.6	▲9.2	▲30.5
H 21.02(見通し)	▲45.4 (—)	▲38.5	▲41.9	▲12.2	▲44.8

図表1-2 自社業況DI値(前年同期比)の推移



(2) 業種別の業況

① 建設業

現状判断：低調に推移している。

業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲31.5となっており、前回より1.0ポイント低下するなど、引き続き低調に推移している。

県や市町村発注の公共工事を中心に依然として発注量が手控えられていることから建設業者の供給過剰感は解消されていない。工事種別では土木工事、地域別では町村部での発注が相対的に手控えられており、県内でも都市部と建築（補修）工事へ業者が集中する傾向にある。また、発注工事の小規模化が進んでいることから工事当たりの利益率も低下している。

一方、世界的な景気後退懸念から製造業では設備投資を控える傾向にあることなどを受け、工場建設などの民間工事の受注状況に影響が出始めているほか、マンション工事などは景気悪化と供給過剰などを理由に代金回収を懸念する声も聞かれた。ただ、昨年と比べると住宅需要が例年並みに戻ってきており、これを前向きな材料として評価する声もあった。

先行き見通し：先行き不安感は拭えない。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が▲54.9となっており、今期より23.4ポイント悪化の予想となっているなど、先行き不安感は拭えない。

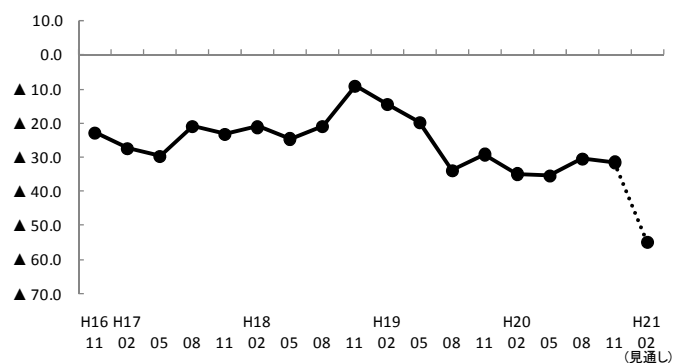
業況の低下をかるうじて下支えしてきた民間工事に陰りがみられ始めていることや、公共工事に対する期待感も総じて低いことなどから例年以上に手持ち工事が少なく、繰り越し工事の不足に危機感を募らせる業者が多い。こうしたことから、年度末に向けた公共工事の発注や除雪などへ期待を寄せる業者が例年以上に多くみられた。

なお、資金繰りDI値が▲61.3と過去一番の悪化予想となったように、多くの業者から資金繰りの悪化を懸念する声が聞かれた。

図表 2-1 現状判断と先行き見通し(各DI値の動向)

(前年同期比) (調査時点)	自社業況					
	(前期比)	完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
H 19.11	▲29.3 (▲17.3)	▲32.8	▲30.2	▲18.9	7.7	▲28.4
H 20.02	▲35.0 (▲25.7)	▲40.2	▲47.0	▲32.4	▲19.7	▲35.0
H 20.05	▲35.5 (▲37.1)	▲22.5	▲31.4	▲35.5	▲26.6	▲34.6
H 20.08	▲30.5 (▲33.0)	▲24.3	▲33.9	▲37.4	▲19.1	▲31.3
H 20.11	▲31.5 (▲17.7)	▲35.5	▲44.4	▲31.5	▲5.6	▲38.8
H 21.02(見通し)	▲54.9 (—)	▲50.0	▲59.7	▲53.2	▲21.0	▲61.3

図表 2-2 自社業況DI値(前年同期比)の推移



業界の声

Q. 今期の業況について

- 土木は年々減っている。特に都市土木は郊外土木に比べて県や市町村の発注が多く、その予算が年々減っているのが大きく影響している。原材料関連は少しずつ下がってきているのでほっとしている。以前は納期も間に合わないほどで、工期に遅れが生じることもあった。(総合工事業、A社)
- 昨年と比べて完工高は3割減。利益率はもっと悪い。土木の落ち込みはさほどでもないが、建築は利益の出ない物件を中心に手放したことで、大型物件が取れなかったことが影響した。民間工事は企業が設備投資を延期していることなどあって予定が狂った。ここ2~3ヶ月は特に冷え込んだ感がある。(同、B社)
- 全体として1,000万円以下の細かい仕事が多いので、手間がかかる割に儲からない。おかげで技師不足。(同、C社)
- 工種別施工単価を見直ししなければ工事利益が出せない。発注者は聞く耳を傾け、施工者は改善要望を出さなければ改善されない。(各種工事業、D社)
- 農業を営みながら建設会社に勤めるのが当地区に多く見られる形態。農作物の価格低下や労務費単価の伸び悩みにより、日々の生活費で精一杯との声が多い。(同、E社)

Q. 来期の見通しについて

- 公共工事の発注は出だしが遅かったが、このところ出てくるようになった。特に道路。また、引き続き原価管理に注力していきたい。新しい下請け探しなども積極的に行って競争原理を働かせ、コスト削減に努めたい。(総合工事業、A社)
- この冬に雪が降らないと除雪が出ないので、ひっくり返る業者が相当出てくるかもしれない。過去の蓄積がない業者は特に厳しいだろう。給料の遅配なども噂で聞こえてくる。(同、B社)
- 公共工事は発注が遅れている分を何とか今年中に出してほしい。でないと来年度への繰り越しになってしまう。また、これからは首都圏の工事が本格化するので、今行っている人数を順次増やしていく予定。地元は除雪頼み。(同、C社)
- 銀行等の貸し付けが遅延なく十分とはいかないまでも、企業の下支えとなれるように頑張ってほしい。(各種工事業、D社)
- 金融恐慌の影響で不況はどのくらい続くのか。冬季及び端境期に当てにしている大都市圏への出張工事にまで影響が及ぶとなれば将来の企業継続に不安を感じる。(同、E社)

② 製造業

現状判断：悪化の兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲28.8 となっており、前回より 6.9 ポイント改善したものの、総じて悪化の兆しが見られる。

世界的な景気後退に伴う需要の低迷を見込んで、大手企業の出先工場を中心に大幅な減産に見舞われているところも少なくない。生産状況は毎月前年比 2 割から 3 割減となっている企業も多く、大幅な雇用調整の必要性に迫られている。特に、9 月以降の本格的な金融危機をきっかけに、かつてないほど早急な生産調整局面に立たされており、県内の雇用情勢に与える影響も予断を許さない状況。人員・人手DI値も▲27.3 となっており、企業の人員過剰感は過去最高となった。

なお、業態別に自社の業況DIを別途集計すると、電気機械や輸送機械などの加工組立型は▲46.3 となっているおり、過去最低。また、化学工業や鉄鋼、金属製品製造などの基礎素材型では▲8.6、食品加工や衣料、家具、印刷などの生活関連型は▲26.9 であった。

先行き見通し：浮揚力に乏しい展開が続く。

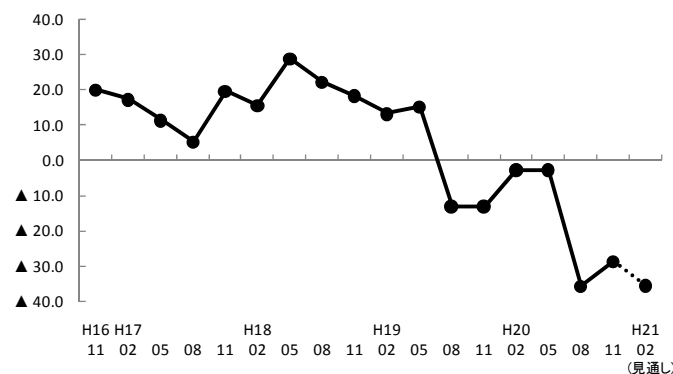
業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が 6.8 ポイント低下して▲35.6 となるなど、浮揚力に乏しい展開が続く。

この数ヶ月、業績見込みがほぼ毎月渡って下方修正されるという先の読めない厳しい状況にあるとの声が多く聞かれる中、各社ともこれから本格的な生産調整に入る模様。特に、派遣労働者を中心として、今期末までに数十名規模の削減を見込んでいる企業もあるほか、協力工場の再編等を見込む企業もあるなど、県内の雇用環境はさらに厳しさを増すことが予想される。

図表 3-1 現状判断と先行き見通し(各DI値の動向)

(前年同期比) (調査時点)	自社業況						
	(前期比)	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
H 19.11	▲13.1 (▲3.6)	▲10.2	▲17.5	▲78.1	▲13.1	7.3	▲8.8
H 20.02	▲2.8 (▲2.1)	6.3	▲19.8	▲79.6	▲12.6	4.9	▲9.1
H 20.05	▲2.8 (▲11.2)	4.9	▲15.3	▲83.3	▲17.4	▲7.0	▲11.1
H 20.08	▲35.7 (▲28.7)	▲16.3	▲30.2	▲84.5	▲13.2	▲10.1	▲17.8
H 20.11	▲28.8 (▲22.7)	▲19.7	▲28.0	▲72.0	▲15.2	▲27.3	▲31.8
H 21.02(見通し)	▲35.6 (—)	▲30.3	▲25.8	▲22.0	▲31.0	▲18.2	▲37.9

図表 3-2 自社業況DI値(前年同期比)の推移



業界の声

Q. 今期の業況について

- 10月に某自動車メーカー減産のニュースが出てから急激に仕事が減った。8月頃までは好調で、下期は上期を上回るかという認識でいたが、このところ生産量は前年比2割減。12月以降は3割減も覚悟しないといけない。(非鉄金属、A社)
- 毎年プリンタヘッドの生産ピークは夏ということもあり、景気減速が直撃することはない。しかし、欧米の先行きが厳しいとわかってから、毎月の業績見込みが1~2割下方修正される状況が続いている。(電子部品・デバイス、B社)
- 親会社が上期決算で目標未達だったこともあり、10月時点で計画を下方修正した。パソコンが売れないということもあり、モノがだいたいダブついてきている。部品メーカーはどこも生産調整に入っている。(同、C社)
- 9月までは計画どおりに推移してきた。最初に親会社から計画の下方修正がきたのは10月。下期58億円の計画が50億円になった。その後10月中旬にもう一度下方修正がきて44億円、12月には39億円に修正された。毎月見直しされている状況。(輸送機械、D社)
- 9月を境に激変し、減産、減産と立て続けに生産調整に入った。生産量は前年比20%減。(同、E社)

Q. 来期の見通しについて

- 協力工場の再編も検討しなくてはならない。出資比率の高い協力工場を統合する方向で検討中。また、希望退職者や定年退職者、高齢者雇用の見直しに加え、12月中には派遣労働者の契約打ち切りが40名弱出る。下期だけでも100名程度の調整になる。(非鉄金属、A社)
- 円高の影響で親会社は海外での販売に苦戦している。こういう状況が続けば、これからの生産計画に間接的に影響が出てくる。また、グループ全体でいえば、半導体やデバイス系は相当厳しい。前年比6割~7割減。ラインを止めざるを得ないという状況。(電子部品・デバイス、B社)
- 実際に当社の生産に影響が出始めたのはこの12月から。前年比1割程度の減産になる見込み。02年にITバブルが崩壊した時と同じくらいのインパクトがある。とりあえず派遣労働者の契約更新をストップした(情報通信機械、C社)
- 生産が減っているのは海外経済の減速に加え、最近の円高も要因。海外の需要が急速に減っており、受注のキャンセルも相次いでいる。毎月数千、数万というロットで納品停止がくる。(輸送機械、D社)
- 今期の売上の計画は80億円だったが、60億円に下方修正した。(同、E社)

③ 卸・小売業

現状判断：悪化している。

業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲37.2となっており、前回調査時点より11.4ポイント低下するなど、悪化している。

売上高DI値は前回より25.9ポイント低下、営業利益DI値も前回より8.7ポイント低下、在庫状況DI値も7.2ポイント低下するなど軒並み悪化している。一方、仕入価格は原油をはじめとする燃料価格、資材価格が低下したことを反映して、落ち着きを取り戻しつつあり、仕入価格DI値は前回より13.1ポイント改善している。また、資金繰りDI値も改善の動きをみせた。

業態別にみると、食料品などの最寄り品を扱う業者は、家具・家電などの買い回り品や時計・貴金属などの専門品を扱う業者に比べて、相対的に悪化の度合いは小さかった。ただ、ガソリンスタンドなどの燃料小売りは、秋季以降の原油価格低下はあったものの、今年前半の原油価格高騰の余波から消費者の買い控えが続き、業況は低調となっている。また、建設業界の不振により、建設資材や機材卸、小売りも引き続き低迷している。

先行き見通し：一段と厳しい展開。

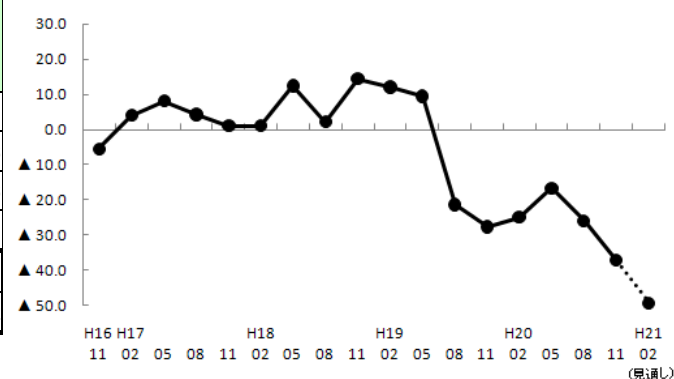
業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が今期に比べ11.9ポイント低下して▲49.1となるなど、一段と厳しい展開。

10月以降、景気後退感が鮮明になる中、所得環境の悪化懸念から生活関連商品を中心に個人消費が急激に冷え込む可能性が高く、家計の緊縮化に伴う販売不振が懸念される。また製造業の生産調整、非正規雇用者を中心とした雇用調整の拡大も懸念されることから、企業、家計の両面からの需要の縮小が予想される。こうしたことを反映し、売上高DI値、在庫状況DI値は、今期に比べてそれぞれ21.6ポイント、21.5ポイントの大幅な悪化予想となった。

図表 4-1 現状判断と先行き見通し(各DI値の動向)

(前年同期比) (調査時点)	自社業況						
	(前期比)	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
H 19.11	▲27.5 (▲16.5)	▲6.4	▲25.7	▲48.7	▲6.5	▲1.8	▲20.1
H 20.02	▲24.8 (▲11.4)	▲8.5	▲27.6	▲59.1	▲19.1	▲1.9	▲27.6
H 20.05	▲16.5 (▲24.3)	0.0	▲18.3	▲69.6	▲8.7	▲0.8	▲22.6
H 20.08	▲25.8 (▲10.3)	4.3	▲19.8	▲69.0	▲9.5	▲4.3	▲26.7
H 20.11	▲37.2 (▲33.3)	▲21.6	▲28.5	▲55.9	▲16.7	▲7.8	▲19.7
H 21.02(見通し)	▲49.1 (—)	▲43.2	▲38.3	▲23.5	▲38.2	▲8.9	▲36.2

図表 4-2 自社業況DI値(前年同期比)の推移



業界の声

Q. 今期の業況について

- 売上げが厳しい。9月までは前年比▲1%～▲2%とまずまずだったが、10月に入り前年比▲4%～▲5%と急激に悪化した。来店客数も前年比数パーセント減っている。生鮮食料品を中心に価格が低下したにもかかわらず客単価が伸びていない。たとえば、大根1本の売上げは前年比マイナスなのに、1/2カットの大根は前年比約3割増しの売れ行きになるなど、お客が必要以上の買物を極力抑えている。(各種商品小売り、A社)
- 上半期は、衣料品の売上げが前年比▲4%～▲5%と厳しかったが、食料品の売上げが底支えとなり、トータルでは前年並みの売上げを確保できた。ただ、秋以降は他社の値下げ攻勢が激しくなっていることと、消費者がバーゲンセールであっても必要なものだけ買う“ねらい買い”が顕著になっているので厳しい。(各種商品小売り、B社)
- 建設業界がまったくダメ。工事が全く無い状況で、特に“お盆”以降急激にブレーキが掛かった感じで、予断を許さない(建設資材卸、C社)
- ガソリン価格の乱高下に振り回されている。9月まで価格高騰時に著しい買い控えと客離れが生じ、その影響は価格が低下した10月以降も尾を引き、今月に入っても昨年ほどガソリンは売れていない。10月には一時的にガソリンで約10円/リットル、灯油で約20円/リットル程度もうかった時期もあったが、今はもう何もカツカツ。(燃料小売り、D社)

Q. 来期の見通しについて

- 赤字だった前年度ほど悪くはないだろうが、売上げが大きく改善する見込みはない。低単価、売上げ減の傾向は続くともみている。(各種商品小売り、A社)
- 今後は、衣料品の売上げが相当落ち込むと思う。しかし、年間トータルでは、厳しいだろうが売上げで前年比▲3%～▲4%程度には持って行きたい。歳末商戦は、東京都内では前年比約▲10%と極めて厳しい見方をしているところも有る。(各種商品小売り、B社)
- この地域の建設業は、ほとんどボーナスが出ていないのが実態。取引先の中に年を越せない会社が出るのではと心配している。(建設資材卸、C社)
- 年間トータルで売上げ、利益ともに前年比マイナスは確実。ガソリンの値段が下がったからと言って、消費者の買い控え姿勢が簡単に変わるとは思っていない。(燃料小売り、D社)
- 一部商品を値上げしたので、本来は数パーセント売上げが増えているはずだが、そうはなっていない。買上げ点数減少傾向は続く。(各種商品小売り、E社)

④ サービス業

現状判断：悪化しつつある。

業況は、自社の業況DI値（前年同期比）が▲27.1となっており、前回より14.3ポイント低下するなど、急速に悪化しつつある。

夏場までは燃料費の高騰の影響から消費者が遠出を控える傾向があり、観光や外食関連産業の一部にとってマイナスの影響はあったものの、範囲は限定的であった。ただ、秋季以降は燃料価格が落ち着きを取り戻した反面、米国発の金融危機を契機として急激に事業所向けサービス需要（システム開発や貨物等）が減退するなど、サービス業全体が萎縮しはじめている。対個人サービス業の業況DI値は▲21.2、対事業所サービス業の業況DI値は▲32.7となっており、特に対事業所サービス業は5月調査の▲9.8から大幅な悪化となった。

なお、サービス業各社では、この10月を急激な景気の屈曲点と見ている。燃料価格高騰の影響が出ていた上半期のダメージを燃料価格の落ち着いた下期に巻き返そうとした矢先、急激な景気後退局面に見舞われた様子であった。

先行き見通し：急速に不安感が先行。

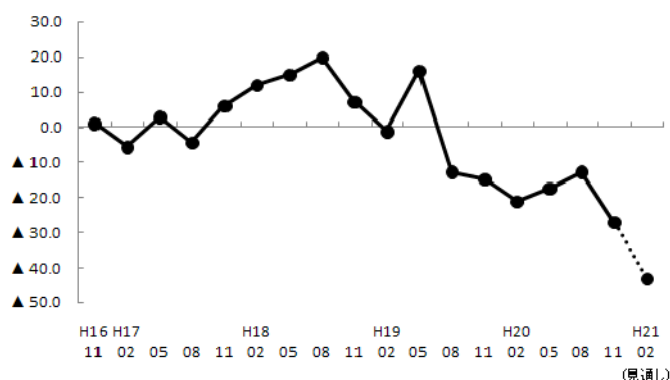
業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が15.9ポイント低下して▲43.0となるなど、先行き急速に不安感が増している。売上高DI値、営業利益DI値は、今期に比べてそれぞれ13.9ポイント、12.2ポイントの悪化予想となった。

対個人サービス業では、宿泊業を中心に個人需要の一層の縮小を見込む企業が多い。また、対事業所サービス業では、製造業の今後の生産規模縮小に伴う法人貨物量の減少が懸念されるほか、システム開発や広告宣伝などの各種法人需要も縮小することが懸念されるなど、厳しさが増す見込み。

図表 5-1 現状判断と先行き見通し(各DI値の動向)

(前年同期比) (調査時点)	自社業況				
	(前期比)	売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
H 19.11	▲14.7 (▲10.8)	▲8.8	▲13.7	14.7	▲18.7
H 20.02	▲21.1 (▲19.3)	▲10.1	▲18.3	10.1	▲24.8
H 20.05	▲17.4 (▲23.4)	▲7.8	▲21.7	9.6	▲25.2
H 20.08	▲12.8 (▲14.7)	▲5.9	▲19.6	4.9	▲20.6
H 20.11	▲27.1 (▲21.5)	▲16.9	▲32.7	7.5	▲30.0
H 21.02(見通し)	▲43.0 (—)	▲30.8	▲44.9	1.9	▲42.1

図表 5-2 自社業況DI値(前年同期比)の推移



業界の声

Q. 今期の業況について

- 業況は非常に悪い。オイルショックの時より厳しい。オイルショック時は好況時の急激な落ち込みだったので、まだ何とかあったが、今回は不況時の急ショック。こんな事は初めて。(宿泊、A社)
- 不況感がもろにきている。今年度に入って、売上げが前年同月比でプラスになったのは8月だけ。その他の月は軒並み前年同月比▲10%～▲20%。宿泊客数が減っている中で特に県外客の減少が目立つ。(宿泊、B社)
- 今期の売上げは、前年同期比▲8%。予想では▲10%超も覚悟していたので、その点ではまあまあ。経費削減で利益は前年比トントンになった。(宿泊、C社)
- 貨燃料費上昇分の運賃への価格転嫁が一巡したことから売上げは前年同期比でプラス。しかし、上期の燃料費の上昇は予想以上で、利益は大幅に悪化した。(貨物、D社)
- 夜の飲食店街は近年になくひどい状況。11月に入って一層厳しくなった。夏までは「今年は何とかなりそうだ」との感触があり頑張ってきたが、秋以降がひどすぎる。(タクシー、E社)

Q. 来期の見通しについて

- 年度末までは、売上げ前年比マイナスは避けられない。食材費が高止まりしているなど条件は厳しいが、一層の経費削減を行い、利益は前年比何とかトントンにしたい。(宿泊、A社)
- この厳しい状態がいつまで続くのか先が見えない。温泉街全体も厳しい。価格も実勢はダンピングが横行しており、格安ツアーのしわ寄せは、結局宿泊施設が値切られることにつながる。外注していた業務を内製化するなどで切り抜けるしかない。(宿泊、B社)
- 燃料費が急激に低下しているので、利益的には見通しが立ちやすい。ただし、製造業の減産傾向が明らかなので、この関係の貨物量の減少をどうするか、頭が痛い。(貨物、D社)
- 今年は、これ以上悪くならないでくれと願うばかり。早く雪が降れば客数も伸びるのだが……。 (タクシー、E社)

2. 各地の景気動向

(1) 各地の概況

庄内飽海：悪化の兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値が▲33.7となっており、前回より9.7ポイント低下するなど、悪化の兆しが見られる。

業種別では、建設業を除いてDI値が低下した。

最上：低調に推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲26.5となっており、前回より7.0ポイント低下するなど、低調に推移している。

業種別では、サービス業のDI値がプラスとなった。

庄内田川：下げ止まりの兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値が▲19.4となっており、前回より10.5ポイント改善するなど、下げ止まり兆しが見られる。

業種別では、サービス業を除いてDI値が改善した。

村山北部：悪化の兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値が▲41.3となっており、前回より13.4ポイント低下するなど、弱含んでいる。

業種別では、建設業と製造業でDI値の低下が著しい。

置賜：低調に推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲38.6となっており、前回より0.4ポイント低下するなど、低調に推移している。

業種別では、卸・小売業でDI値の低下が顕著であった。

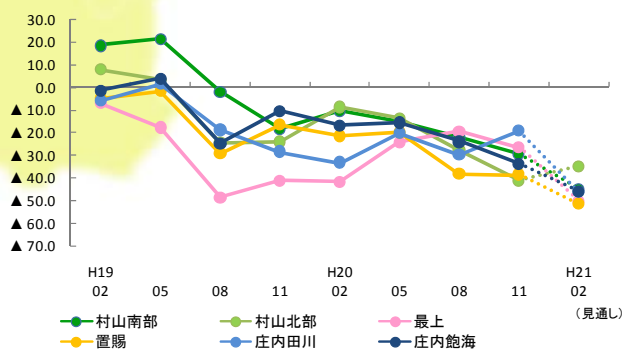
村山南部：悪化の兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値が▲29.3となっており、前回より7.3ポイント低下するなど、弱含んでいる。

業種別では、製造業を除くすべての業種でDI値が低下した。

図表6 各地の景気動向(「自社業況DI値」の動向)

(前年同期比) (調査時点)	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 19.11	▲18.5	▲24.3	▲41.2	▲16.4	▲28.6	▲10.6
H 20.02	▲10.3	▲8.9	▲41.7	▲21.5	▲33.3	▲16.8
H 20.05	▲15.2	▲13.8	▲24.3	▲20.0	▲20.5	▲15.6
H 20.08	▲22.0	▲27.9	▲19.5	▲38.2	▲29.9	▲24.0
H 20.11	▲29.3	▲41.3	▲26.5	▲38.6	▲19.4	▲33.7
H 21.02(見通し)	▲44.8	▲34.9	▲50.0	▲51.4	▲46.2	▲46.0



(2) 地域別・業種別の業況

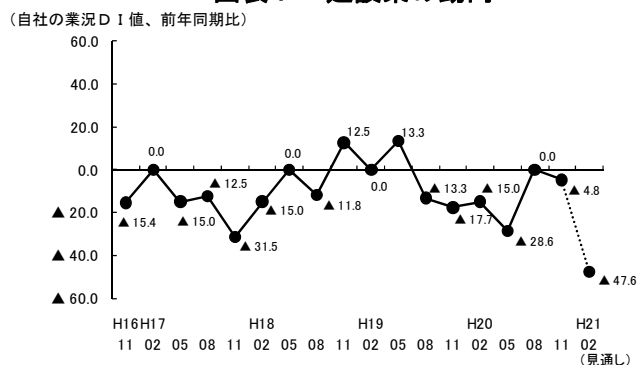
① 村山南部

建設業：低調に推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲4.8となっており、前回より4.8ポイント低下するなど低調に推移している。

来期の見通しについては、DI値が▲47.6となるなど、先行き不安感が先行。

図表7 建設業の動向

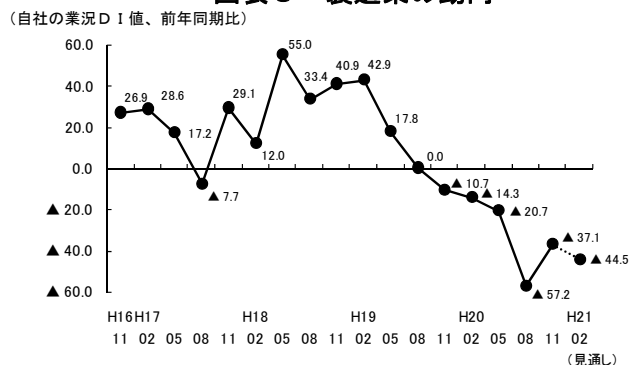


製造業：下げ止まりつつある。

業況は、自社の業況DI値が▲37.1となっており、前回より20.1ポイント改善するなど、下げ止まりつつある。

来期の見通しについては、DI値が▲44.5であり、回復期待感に乏しい。

図表8 製造業の動向

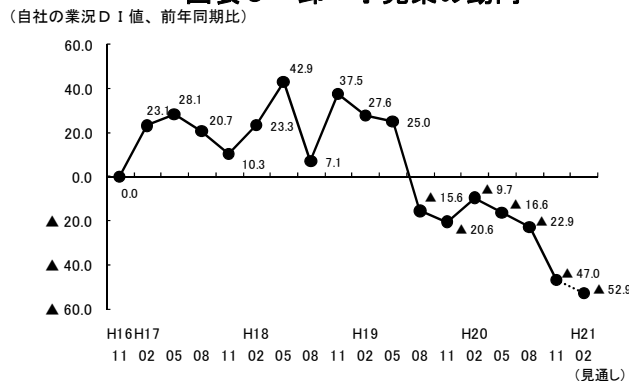


卸・小売業：悪化している。

業況は、自社の業況DI値が▲47.0となっており、前回より24.1ポイント低下するなど悪化している。

来期の見通しについては、DI値が▲52.9となっており、先行き不安感が先行。

図表9 卸・小売業の動向

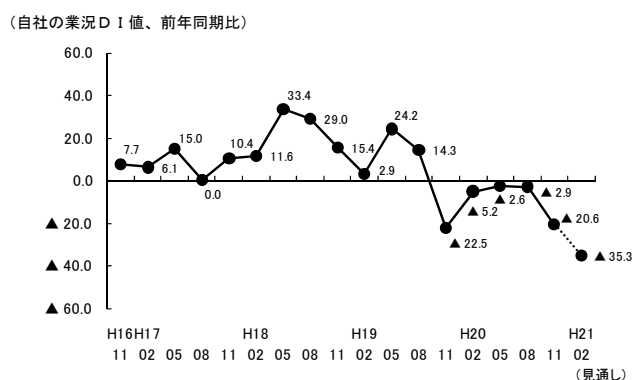


サービス業：弱含んでいる

業況は、自社の業況DI値が▲20.6となっており、前回より17.7ポイント低下するなど、弱含んでいる。

来期の見通しについては、DI値が35.3となるなど、先行き不安感が先行。

図表10 サービス業の動向



② 村山北部

建設業：低調に推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲55.6となっており、前回より35.6ポイント低下するなど低調に推移している。

来期の見通しについては、DI値が▲66.7となっており、先行き不安感が先行。

製造業：回復に力強さが欠ける。

業況は、自社の業況DI値が▲39.3となっており、前回より11.3ポイント低下するなど、悪化の兆しが見られる。

来期の見通しについては、DI値が▲10.7となっており、回復期待感が先行。

卸・小売業：下げ止まりつつある。

業況は、自社の業況DI値が▲25.0となっており、前回より2.2ポイント改善するなど、下げ止まりつつある。

来期の見通しについては、DI値が▲37.5となるなど、回復期待感に乏しい。

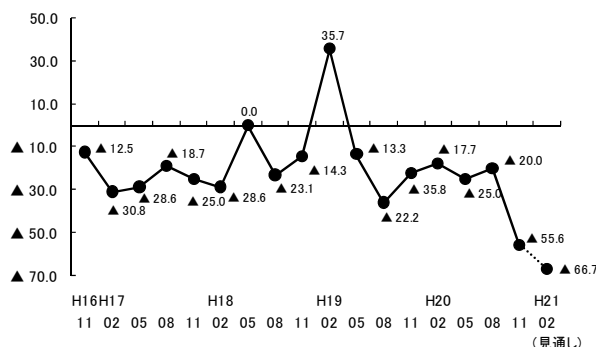
サービス業：一進一退で推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲33.3となっており、前回より6.7ポイント改善するなど、一進一退で推移している。

来期の見通しについては、DI値が▲44.5となっており、回復期待感に乏しい。

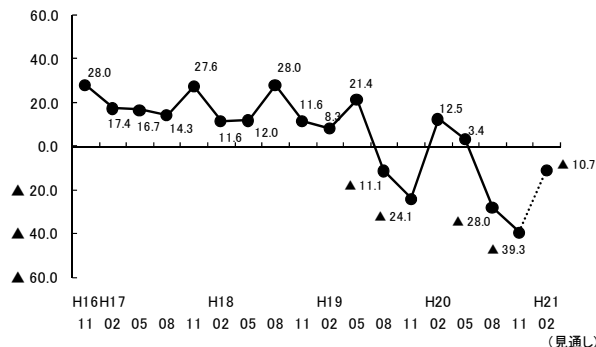
図表1-1 建設業の動向

(自社の業況DI値、前年同期比)



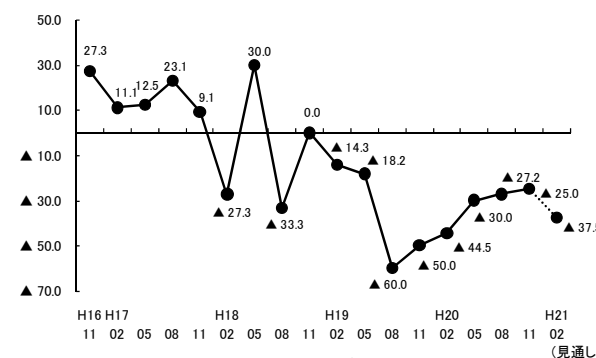
図表1-2 製造業の動向

(自社の業況DI値、前年同期比)



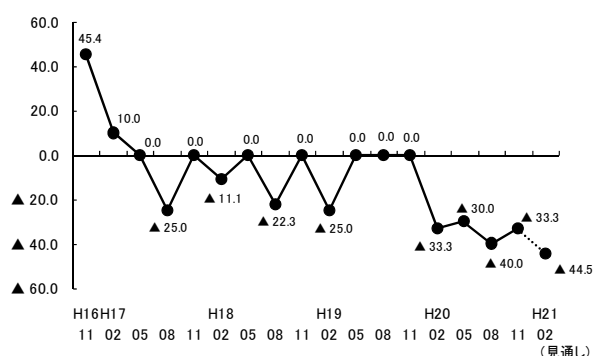
図表1-3 卸・小売業の動向

(自社の業況DI値、前年同期比)



図表1-4 サービス業の動向

(自社の業況DI値、前年同期比)



③ 最上

建設業：横ばいとなっている。

業況は、自社の業況DI値が▲27.8となっており、前回より1.7ポイント改善したが、概ね横ばいとなっている。

来期の見通しについては、DI値が▲44.4となるなど、回復期待感に乏しい。

製造業：悪化しつつある。

業況は、自社の業況DI値が▲50.0となっており、前回より35.7ポイント低下するなど、悪化しつつある。

来期の見通しについては、DI値が▲83.3となっており、先行き不安感が先行。

卸・小売業：弱含んでいる。

業況は、自社の業況DI値が▲40.0となっており、前回よりDI値が23.4ポイント低下するなど、弱含んでいる。

来期の見通しについては、DI値が▲20.0となっており、回復期待感が先行。

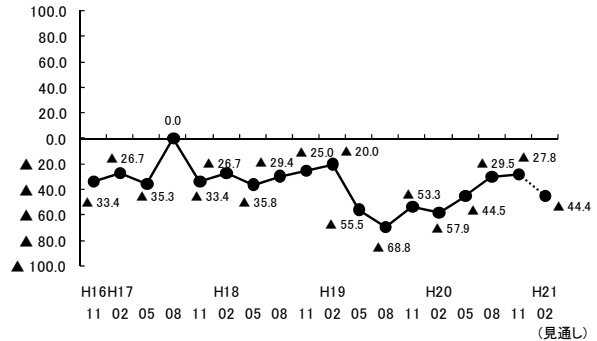
サービス業：上向きつつある。

業況は、自社の業況DI値が20.0となっており、前回よりDI値が20.0ポイント改善するなど、上向きつつある。

来期の見通しについては、DI値が▲60.0となるなど、回復期待感に乏しい。

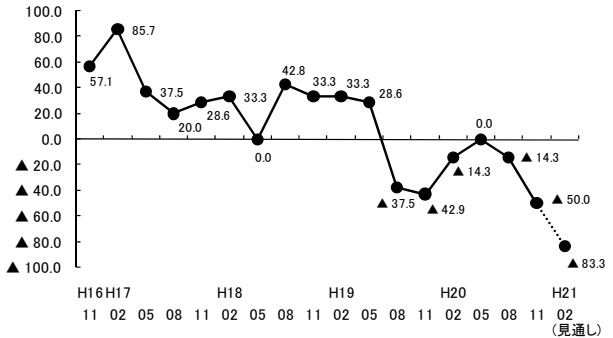
図表15 建設業の動向

(自社の業況DI値、前年同期比)



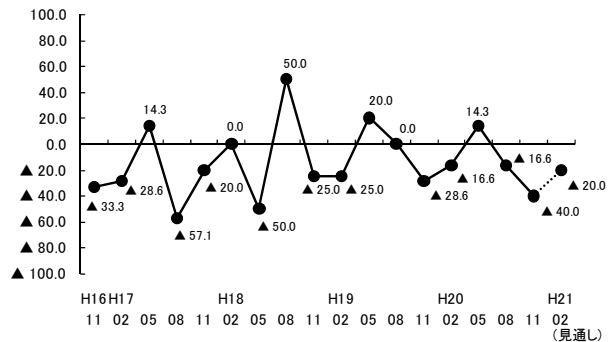
図表16 製造業の動向

(自社の業況DI値、前年同期比)



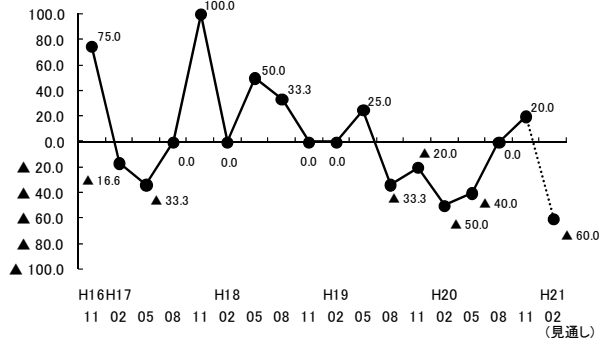
図表17 卸・小売業の動向

(自社の業況DI値、前年同期比)



図表18 サービス業の動向

(自社の業況DI値、前年同期比)



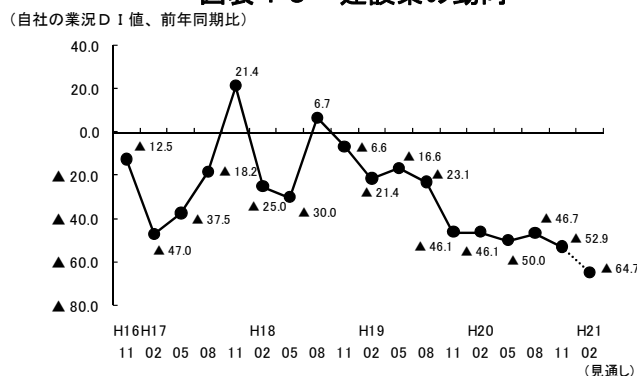
④ 置賜

建設業：低調に推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲52.9となっており、前回より6.2ポイント低下するなど、低調に推移している。

来期の見通しについては、DI値が▲64.7となるなど、先行き不安感が先行。

図表19 建設業の動向

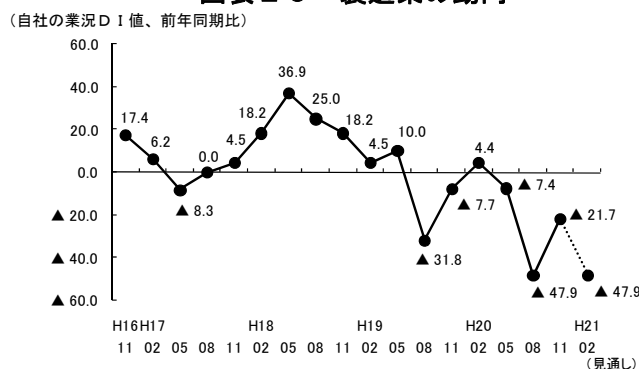


製造業：一進一退で推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲21.7となっており、前回より26.2ポイント改善するなど、一進一退で推移している。

来期の見通しは、DI値が▲47.9となっており、回復期待感に乏しい。

図表20 製造業の動向

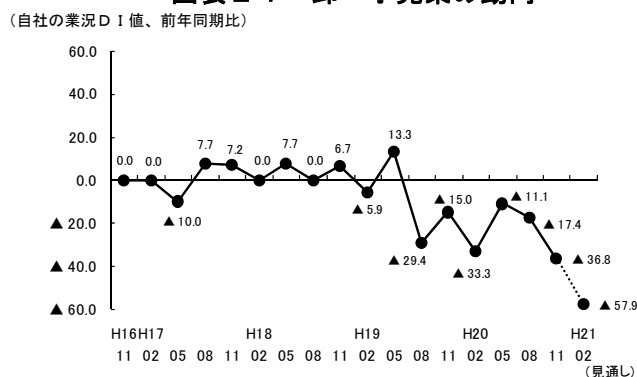


卸・小売業：悪化の兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値が▲36.8となっており、前回より19.4ポイント低下するなど、悪化の兆しが見られる。

来期の見通しについては、DI値が▲57.9となっており、先行き不安感が先行。

図表21 卸・小売業の動向

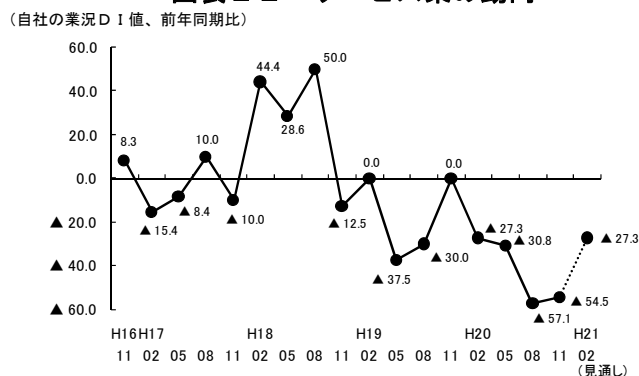


サービス業：低調に推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲54.5となっており、前回より2.6ポイント改善したものの、低調に推移している。

来期の見通しについては、DI値が▲27.3となるなど、回復期待感が先行。

図表22 サービス業の動向



⑤ 庄内田川

建設業：底入れの兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値が▲32.2となっており、前回より10.7ポイント改善するなど、底入れの兆しが見られる。

来期の見通しは、DI値が▲57.1となっており、回復期待感に乏しい。

製造業：一進一退で推移している。

業況は、自社の業況DI値が14.8となっており、前回より20.0ポイント改善したが、一進一退で推移している。

来期の見通しについては、DI値が▲40.8となるなど、回復期待感に乏しい。

卸・小売業：下げ止まりつつある。

業況は、自社の業況DI値が▲11.1となっており、前回より10.7ポイント改善するなど、下げ止まりつつある。

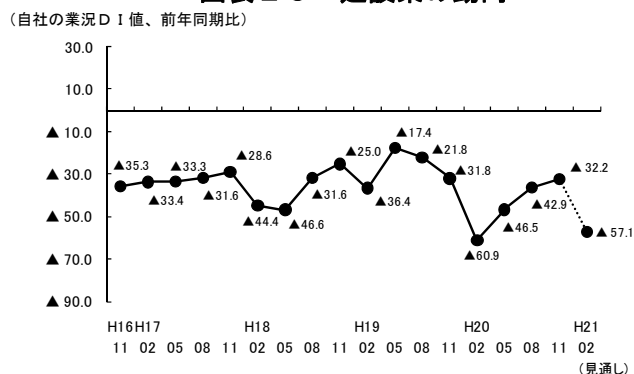
来期の見通しについては、DI値が▲38.9となるなど、回復期待感に乏しい。

サービス業：弱含んでいる。

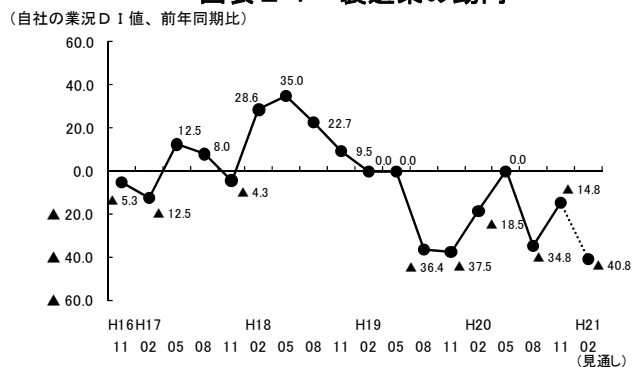
業況は、自社の業況DI値が▲15.0となっており、前回より5.0ポイント低下するなど、弱含んでいる。

来期の見通しについては、DI値が▲45.0となるなど、先行き不安感が先行。

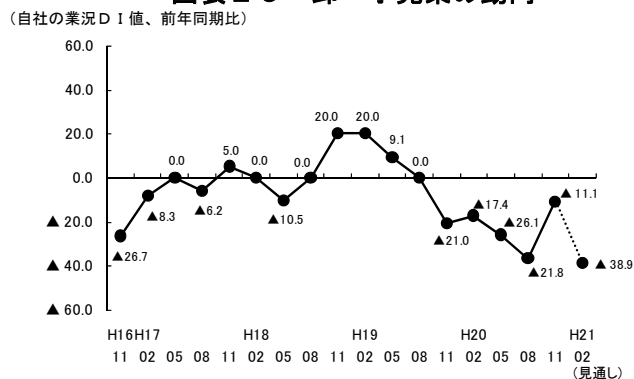
図表23 建設業の動向



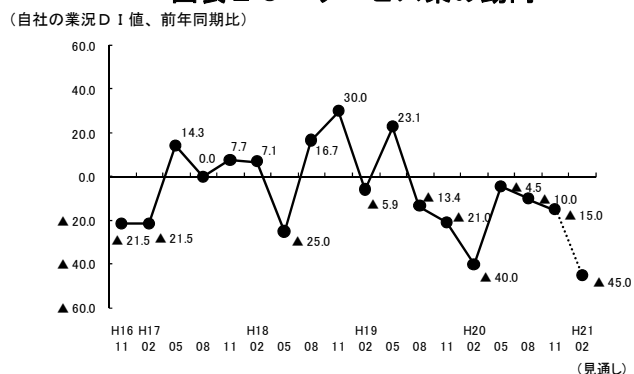
図表24 製造業の動向



図表25 卸・小売業の動向



図表26 サービス業の動向



⑥ 庄内飽海

建設業：一進一退で推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲22.8となっており、前回より19.5ポイント改善するなど一進一退で推移している。
来期の見通しについては、DI値が▲50.0となっており、回復期待感に乏しい。

製造業：悪化の兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値が▲23.8となっており、前回より9.0ポイント低下するなど、悪化の兆しが見られる。
来期の見通しについては、DI値が▲23.8となるなど、引き続き低調。

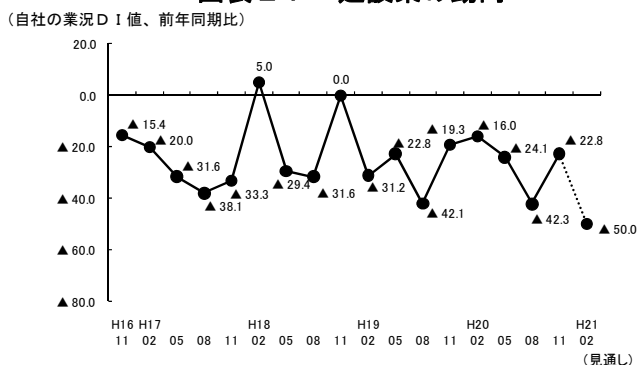
卸・小売業：悪化の兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値が▲50.0となっており、前回より11.9ポイント低下するなど、悪化の兆しが見られる。
来期の見通しについては、DI値が▲55.6となっており、先行き不安感が先行。

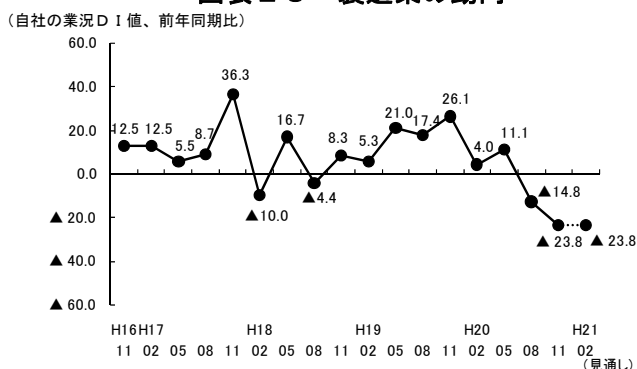
サービス業：一進一退で推移している。

業況は、自社の業況DI値が▲39.3となっており、前回より31.3ポイント低下するなど、一進一退で推移している。
来期の見通し、DI値が▲53.6となっており、先行き不安感が先行。

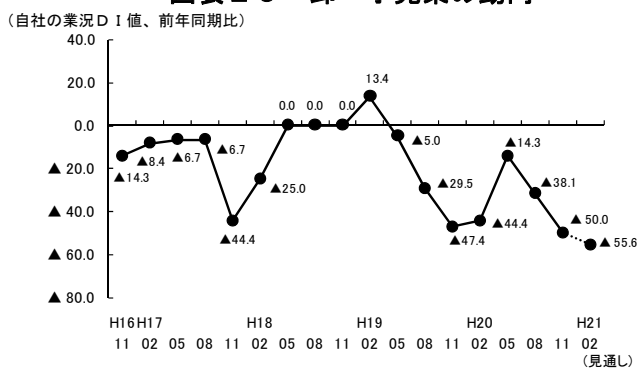
図表27 建設業の動向



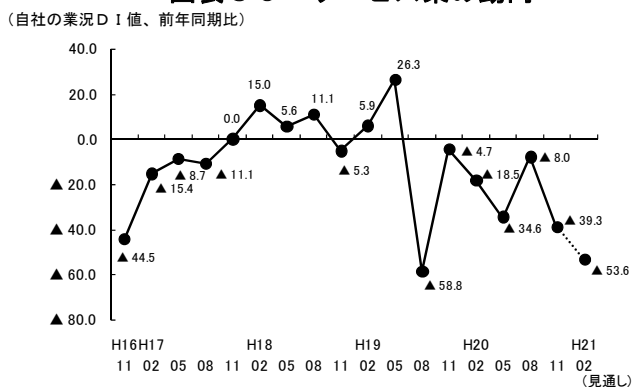
図表28 製造業の動向



図表29 卸・小売業の動向



図表30 サービス業の動向



3. 景気の天気図

※ 天気図とは、地域別・業種別に「自社業況DI値」（前年同期比）を5段階に分けて図解したものです。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ ▲10	▲10 > DI ≥ ▲30	▲30 > DI

図表3-1 景気天気図

◆ 前期の概況（平成20年8月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種						
建設業						
製造業						
卸・小売業						
サービス業						

◆ 今期の概況（平成20年11月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種						
建設業						
製造業						
卸・小売業						
サービス業						

◆ 来期の見通し（平成20年11月調査）

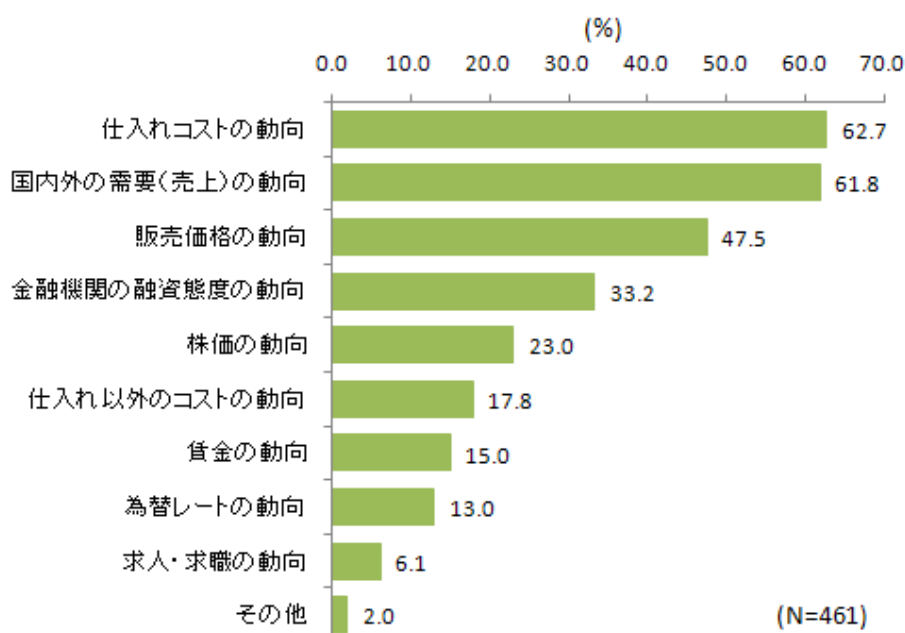
	山形県	村山南部	村山北部	最上置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種						
建設業						
製造業						
卸・小売業						
サービス業						

4. 景気動向に関して特に関心を寄せていること

最近の景気動向に関して特に関心を寄せていることを尋ねたところ（回答は3つまで）、第1位は「仕入れコストの動向」で、62.7%の企業が関心を寄せていると回答した。第2位は「国内外の需要（売上）の動向」で61.8%、第3位は「販売価格の動向」で47.5%の企業がそれぞれ関心を寄せていると回答した。

原材料価格の高騰に伴う収益力の低下や世界経済の減速感に伴う販売不振などへ警戒感を募らせている企業が多い。

最近の景気動向に関して特に関心を寄せていること



【その他の回答】

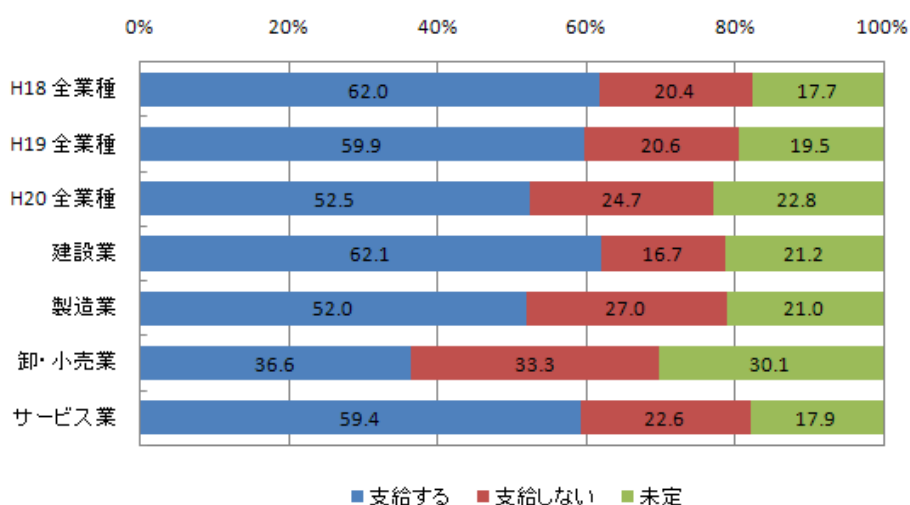
- ・技術開発動向。（建設業）
- ・仕事がどんどん減っている。今後どう回復するのか。（建設業）
- ・大手企業の業績低下による県内景気へのダメージについて。（製造業）
- ・政治動向。（製造業）
- ・金属素材の価格動向。（製造業）
- ・消費マインド。（卸・小売業）
- ・政局の景気対策。公共工事への投資。（卸・小売業）
- ・国・県補正予算の動向、来期の発注計画。（卸・小売業）
- ・販促展開の動向。（サービス業）

5. 特別調査：冬季ボーナスの支給動向について

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ（下図参照）、全業種では52.5%が「支給する」と回答した。過半数の企業は支給する見込みだが、一方で「支給しない」と回答した企業の割合は24.7%にのぼり、これまでの調査実績の中では最も高い値となった。

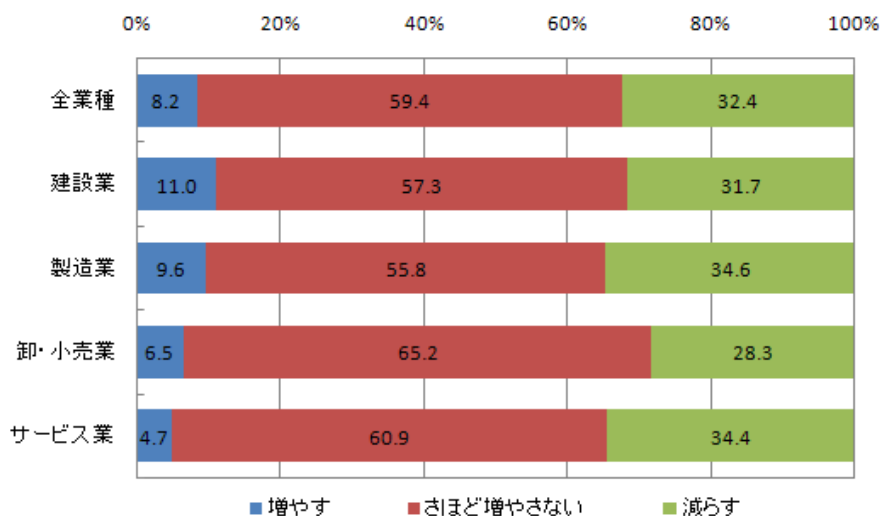
業種別では、「支給する」と回答した企業の割合が最も高かったのは建設業で、62.1%であった。一方、卸・小売業では「支給する」と回答した企業は36.6%にとどまり、過半数を割るなど低調であった。

冬季ボーナスの支給予定動向（割合）



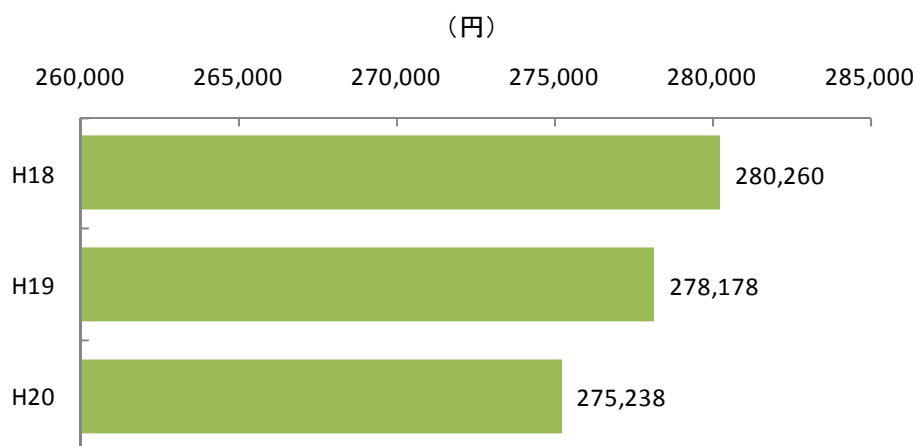
また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年と比べて1人あたりの支給額を増やすかどうか尋ねたところ（下図参照）、全業種でみて「さほど増やさない」と答えた企業が最も多く、59.4%であった。「減らす」と答えた企業は32.4%であった。

冬季ボーナスを「支給する」企業の支給態度



なお、具体的なボーナスの支給予定額については（下図参照）、全業種平均で275,238円であった。今季は、昨年（H19）の冬に比べて2,940円（1.1%）の減少となる見込み。

冬季ボーナスの支給動向（支給額）



<参考資料 I : アンケート調査単純集計結果>

図表 I - 1 結果の概要

(調査対象企業数)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス	合計
村山南部	33	44	68	73	218
村山北部	30	46	23	31	130
最上	27	10	15	11	63
置賜	29	42	33	31	135
庄内田川	42	46	41	50	179
庄内飽海	47	41	41	40	169
合計	208	229	221	236	894

(回答企業数)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス	合計
村山南部	27	34	21	34	116
村山北部	28	8	18	9	63
最上	6	5	18	5	34
置賜	23	19	17	11	70
庄内田川	28	18	27	20	93
庄内飽海	21	18	22	28	89
合計	133	102	123	107	465

(回答率)

	建設業	製造業	卸・小売業	サービス	平均
村山南部	81.8	77.3	30.9	46.6	53.2
村山北部	93.3	17.4	78.3	29.0	48.5
最上	22.2	50.0	120.0	45.5	54.0
置賜	79.3	45.2	51.5	35.5	51.9
庄内田川	66.7	39.1	65.9	40.0	52.0
庄内飽海	44.7	43.9	53.7	70.0	52.7
平均	63.9	44.5	55.7	45.3	52.0

図表 I - 2 自社の業況

(全業種)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	17.4	34.2	48.4	▲ 31.0	18.5	39.6	41.9	▲ 23.4	9.9	34.8	55.3	▲ 45.4
村山南部	19.0	32.8	48.3	▲ 29.3	21.6	34.5	44.0	▲ 22.4	11.2	32.8	56.0	▲ 44.8
村山北部	9.5	39.7	50.8	▲ 41.3	12.7	42.9	44.4	▲ 31.7	15.9	33.3	50.8	▲ 34.9
最上	20.6	32.4	47.1	▲ 26.5	29.4	32.4	38.2	▲ 8.8	5.9	38.2	55.9	▲ 50.0
置賜	14.3	32.9	52.9	▲ 38.6	12.9	38.6	48.6	▲ 35.7	8.6	31.4	60.0	▲ 51.4
庄内田川	24.7	31.2	44.1	▲ 19.4	23.7	43.0	33.3	▲ 9.6	8.6	36.6	54.8	▲ 46.2
庄内飽海	14.6	37.1	48.3	▲ 33.7	13.5	43.8	42.7	▲ 29.2	7.9	38.2	53.9	▲ 46.0

(建設業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	16.1	36.3	47.6	▲ 31.5	21.8	38.7	39.5	▲ 17.7	4.0	37.1	58.9	▲ 54.9
村山南部	33.3	28.6	38.1	▲ 4.8	42.9	28.6	28.6	14.3	9.5	33.3	57.1	▲ 47.6
村山北部	0.0	44.4	55.6	▲ 55.6	0.0	44.4	55.6	▲ 55.6	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7
最上	11.1	50.0	38.9	▲ 27.8	27.8	38.9	33.3	▲ 5.5	5.6	44.4	50.0	▲ 44.4
置賜	0.0	47.1	52.9	▲ 52.9	0.0	47.1	52.9	▲ 52.9	5.9	23.5	70.6	▲ 64.7
庄内田川	21.4	25.0	53.6	▲ 32.2	25.0	35.7	39.3	▲ 14.3	3.6	35.7	60.7	▲ 57.1
庄内飽海	22.7	31.8	45.5	▲ 22.8	27.3	40.9	31.8	▲ 4.5	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0

(製造業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	18.9	33.3	47.7	▲ 28.8	18.2	40.9	40.9	▲ 22.7	15.9	32.6	51.5	▲ 35.6
村山南部	14.8	33.3	51.9	▲ 37.1	18.5	29.6	51.9	▲ 33.4	14.8	25.9	59.3	▲ 44.5
村山北部	10.7	39.3	50.0	▲ 39.3	14.3	46.4	39.3	▲ 25.0	28.6	32.1	39.3	▲ 10.7
最上	16.7	16.7	66.7	▲ 50.0	16.7	50.0	33.3	▲ 16.6	0.0	16.7	83.3	▲ 83.3
置賜	34.8	8.7	56.5	▲ 21.7	30.4	21.7	47.8	▲ 17.4	13.0	26.1	60.9	▲ 47.9
庄内田川	22.2	40.7	37.0	▲ 14.8	11.1	59.3	29.6	▲ 18.5	11.1	37.0	51.9	▲ 40.8
庄内飽海	14.3	47.6	38.1	▲ 23.8	19.0	42.9	38.1	▲ 19.1	14.3	47.6	38.1	▲ 23.8

(卸・小売業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	15.7	31.4	52.9	▲ 37.2	14.7	37.3	48.0	▲ 33.3	7.8	35.3	56.9	▲ 49.1
村山南部	11.8	29.4	58.8	▲ 47.0	8.8	41.2	50.0	▲ 41.2	5.9	35.3	58.8	▲ 52.9
村山北部	25.0	25.0	50.0	▲ 25.0	37.5	12.5	50.0	▲ 12.5	12.5	37.5	50.0	▲ 37.5
最上	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
置賜	5.3	52.6	42.1	▲ 36.8	5.3	52.6	42.1	▲ 36.8	0.0	42.1	57.9	▲ 57.9
庄内田川	33.3	22.2	44.4	▲ 11.1	33.3	33.3	33.3	0.0	11.1	38.9	50.0	▲ 38.9
庄内飽海	11.1	27.8	61.1	▲ 50.0	5.6	33.3	61.1	▲ 55.5	11.1	22.2	66.7	▲ 55.6

(サービス業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	18.7	35.5	45.8	▲ 27.1	18.7	41.1	40.2	▲ 21.5	11.2	34.6	54.2	▲ 43.0
村山南部	20.6	38.2	41.2	▲ 20.6	23.5	35.3	41.2	▲ 17.7	14.7	35.3	50.0	▲ 35.3
村山北部	11.1	44.4	44.4	▲ 33.3	11.1	55.6	33.3	▲ 22.2	11.1	33.3	55.6	▲ 44.5
最上	60.0	0.0	40.0	20.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0
置賜	9.1	27.3	63.6	▲ 54.5	9.1	36.4	54.5	▲ 45.4	18.2	36.4	45.5	▲ 27.3
庄内田川	25.0	35.0	40.0	▲ 15.0	30.0	40.0	30.0	0.0	10.0	35.0	55.0	▲ 45.0
庄内飽海	10.7	39.3	50.0	▲ 39.3	3.6	53.6	42.9	▲ 39.3	7.1	32.1	60.7	▲ 53.6

図表 I - 3 業界の業況

(全業種)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	4.3	25.6	70.1	▲ 65.8	4.5	26.9	68.6	▲ 64.1	3.9	20.9	75.3	▲ 71.4
村山南部	4.3	20.7	75.0	▲ 70.7	3.4	19.8	76.7	▲ 73.3	2.6	19.8	77.6	▲ 75.0
村山北部	1.6	28.6	69.8	▲ 68.2	3.2	31.7	65.1	▲ 61.9	4.8	25.4	69.8	▲ 65.0
最上	2.9	38.2	58.8	▲ 55.9	8.8	38.2	52.9	▲ 44.1	8.8	20.6	70.6	▲ 61.8
置賜	7.1	21.4	71.4	▲ 64.3	5.7	22.9	71.4	▲ 65.7	2.9	21.4	75.7	▲ 72.8
庄内田川	5.4	28.0	66.7	▲ 61.3	7.5	28.0	64.5	▲ 57.0	4.3	20.4	75.3	▲ 71.0
庄内飽海	3.4	25.8	70.8	▲ 67.4	1.1	30.3	68.5	▲ 67.4	3.4	19.1	77.5	▲ 74.1

(建設業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	1.6	29.0	69.4	▲ 67.8	5.6	30.6	63.7	▲ 58.1	2.4	15.3	82.3	▲ 79.9
村山南部	4.8	14.3	81.0	▲ 76.2	4.8	19.0	76.2	▲ 71.4	0.0	4.8	95.2	▲ 95.2
村山北部	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7	0.0	11.1	88.9	▲ 88.9
最上	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	11.1	50.0	38.9	▲ 27.8	11.1	27.8	61.1	▲ 50.0
置賜	0.0	29.4	70.6	▲ 70.6	0.0	29.4	70.6	▲ 70.6	5.9	17.6	76.5	▲ 70.6
庄内田川	3.6	25.0	71.4	▲ 67.8	10.7	25.0	64.3	▲ 53.6	0.0	17.9	82.1	▲ 82.1
庄内飽海	0.0	27.3	72.7	▲ 72.7	4.5	31.8	63.6	▲ 59.1	0.0	13.6	86.4	▲ 86.4

(製造業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	5.3	18.2	76.5	▲ 71.2	4.5	18.9	76.5	▲ 72.0	3.8	20.5	75.8	▲ 72.0
村山南部	7.4	11.1	81.5	▲ 74.1	7.4	7.4	85.2	▲ 77.8	3.7	14.8	81.5	▲ 77.8
村山北部	3.6	25.0	71.4	▲ 67.8	3.6	35.7	60.7	▲ 57.1	7.1	32.1	60.7	▲ 53.6
最上	0.0	16.7	83.3	▲ 83.3	0.0	16.7	83.3	▲ 83.3	0.0	0.0	100.0	▲ 100.0
置賜	8.7	17.4	73.9	▲ 65.2	8.7	8.7	82.6	▲ 73.9	0.0	21.7	78.3	▲ 78.3
庄内田川	3.7	25.9	70.4	▲ 66.7	3.7	25.9	70.4	▲ 66.7	7.4	18.5	74.1	▲ 66.7
庄内飽海	4.8	9.5	85.7	▲ 80.9	0.0	14.3	85.7	▲ 85.7	0.0	19.0	81.0	▲ 81.0

(卸・小売業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	6.9	23.5	69.6	▲ 62.7	5.9	25.5	68.6	▲ 62.7	4.9	21.6	73.5	▲ 68.6
村山南部	2.9	20.6	76.5	▲ 73.6	2.9	20.6	76.5	▲ 73.6	2.9	17.6	79.4	▲ 76.5
村山北部	0.0	37.5	62.5	▲ 62.5	12.5	25.0	62.5	▲ 50.0	12.5	25.0	62.5	▲ 50.0
最上	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0
置賜	10.5	15.8	73.7	▲ 63.2	5.3	26.3	68.4	▲ 63.1	0.0	21.1	78.9	▲ 78.9
庄内田川	11.1	27.8	61.1	▲ 50.0	11.1	33.3	55.6	▲ 44.5	5.6	33.3	61.1	▲ 55.5
庄内飽海	5.6	27.8	66.7	▲ 61.1	0.0	27.8	72.2	▲ 72.2	5.6	16.7	77.8	▲ 72.2

(サービス業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI	良い	不変	悪い	DI
山形県	3.7	32.7	63.6	▲ 59.9	1.9	33.6	64.5	▲ 62.6	4.7	27.1	68.2	▲ 63.5
村山南部	2.9	32.4	64.7	▲ 61.8	0.0	29.4	70.6	▲ 70.6	2.9	35.3	61.8	▲ 58.9
村山北部	0.0	22.2	77.8	▲ 77.8	0.0	22.2	77.8	▲ 77.8	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7
最上	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0	0.0	40.0	60.0	▲ 60.0	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
置賜	9.1	27.3	63.6	▲ 54.5	9.1	36.4	54.5	▲ 45.4	9.1	27.3	63.6	▲ 54.5
庄内田川	5.0	35.0	60.0	▲ 55.0	5.0	30.0	65.0	▲ 60.0	5.0	15.0	80.0	▲ 75.0
庄内飽海	3.6	35.7	60.7	▲ 57.1	0.0	42.9	57.1	▲ 57.1	7.1	25.0	67.9	▲ 60.8

図表 I - 4 売上高、完成工事高（建設業）

（全業種）

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	23.2	29.9	46.9	▲ 23.7	26.5	34.8	38.7	▲ 12.2	13.1	35.3	51.6	▲ 38.5
村山南部	26.7	29.3	44.0	▲ 17.3	30.2	30.2	39.7	▲ 9.5	12.9	39.7	47.4	▲ 34.5
村山北部	19.0	41.3	39.7	▲ 20.7	23.8	44.4	31.7	▲ 7.9	17.5	36.5	46.0	▲ 28.5
最上	23.5	17.6	58.8	▲ 35.3	29.4	26.5	44.1	▲ 14.7	11.8	35.3	52.9	▲ 41.1
置賜	20.0	27.1	52.9	▲ 32.9	20.0	27.1	52.9	▲ 32.9	8.6	38.6	52.9	▲ 44.3
庄内田川	25.8	25.8	48.4	▲ 22.6	33.3	37.6	29.0	4.3	16.1	31.2	52.7	▲ 36.6
庄内飽海	21.3	33.7	44.9	▲ 23.6	20.2	40.4	39.3	▲ 19.1	11.2	30.3	58.4	▲ 47.2

（建設業）

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	15.3	33.9	50.8	▲ 35.5	23.4	40.3	36.3	▲ 12.9	7.3	35.5	57.3	▲ 50.0
村山南部	33.3	28.6	38.1	▲ 4.8	47.6	19.0	33.3	14.3	14.3	42.9	42.9	▲ 28.6
村山北部	5.6	50.0	44.4	▲ 38.8	11.1	50.0	38.9	▲ 27.8	0.0	38.9	61.1	▲ 61.1
最上	11.1	33.3	55.6	▲ 44.5	22.2	44.4	33.3	▲ 11.1	16.7	33.3	50.0	▲ 33.3
置賜	0.0	47.1	52.9	▲ 52.9	5.9	47.1	47.1	▲ 41.2	5.9	35.3	58.8	▲ 52.9
庄内田川	14.3	21.4	64.3	▲ 50.0	21.4	39.3	39.3	▲ 17.9	3.6	28.6	67.9	▲ 64.3
庄内飽海	22.7	31.8	45.5	▲ 22.8	27.3	45.5	27.3	0.0	4.5	36.4	59.1	▲ 54.6

（製造業）

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	27.3	25.8	47.0	▲ 19.7	28.0	30.3	41.7	▲ 13.7	17.4	34.8	47.7	▲ 30.3
村山南部	29.6	29.6	40.7	▲ 11.1	33.3	18.5	48.1	▲ 14.8	11.1	37.0	51.9	▲ 40.8
村山北部	21.4	32.1	46.4	▲ 25.0	25.0	42.9	32.1	▲ 7.1	28.6	39.3	32.1	▲ 3.5
最上	33.3	0.0	66.7	▲ 33.4	33.3	16.7	50.0	▲ 16.7	0.0	16.7	83.3	▲ 83.3
置賜	26.1	13.0	60.9	▲ 34.8	26.1	13.0	60.9	▲ 34.8	8.7	39.1	52.2	▲ 43.5
庄内田川	33.3	22.2	44.4	▲ 11.1	29.6	44.4	25.9	3.7	22.2	29.6	48.1	▲ 25.9
庄内飽海	23.8	38.1	38.1	▲ 14.3	23.8	33.3	42.9	▲ 19.1	19.0	33.3	47.6	▲ 28.6

（卸・小売業）

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	25.5	27.5	47.1	▲ 21.6	26.5	34.3	39.2	▲ 12.7	12.7	31.4	55.9	▲ 43.2
村山南部	17.6	29.4	52.9	▲ 35.3	11.8	50.0	38.2	▲ 26.4	5.9	38.2	55.9	▲ 50.0
村山北部	37.5	50.0	12.5	25.0	50.0	37.5	12.5	37.5	12.5	25.0	62.5	▲ 50.0
最上	20.0	0.0	80.0	▲ 60.0	20.0	0.0	80.0	▲ 60.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
置賜	36.8	21.1	42.1	▲ 5.3	31.6	21.1	47.4	▲ 15.8	5.3	36.8	57.9	▲ 52.6
庄内田川	22.2	33.3	44.4	▲ 22.2	44.4	33.3	22.2	22.2	27.8	27.8	44.4	▲ 16.6
庄内飽海	27.8	22.2	50.0	▲ 22.2	22.2	27.8	50.0	▲ 27.8	16.7	16.7	66.7	▲ 50.0

（サービス業）

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	25.2	32.7	42.1	▲ 16.9	28.0	34.6	37.4	▲ 9.4	15.0	39.3	45.8	▲ 30.8
村山南部	29.4	29.4	41.2	▲ 11.8	35.3	26.5	38.2	▲ 2.9	20.6	41.2	38.2	▲ 17.6
村山北部	22.2	44.4	33.3	▲ 11.1	22.2	44.4	33.3	▲ 11.1	22.2	33.3	44.4	▲ 22.2
最上	60.0	0.0	40.0	20.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
置賜	9.1	36.4	54.5	▲ 45.4	9.1	36.4	54.5	▲ 45.4	18.2	45.5	36.4	▲ 18.2
庄内田川	35.0	30.0	35.0	0.0	45.0	30.0	25.0	20.0	15.0	40.0	45.0	▲ 30.0
庄内飽海	14.3	39.3	46.4	▲ 32.1	10.7	50.0	39.3	▲ 28.6	7.1	32.1	60.7	▲ 53.6

図表 I - 5 営業利益

(全業種)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	17.6	31.2	51.2	▲ 33.6	17.0	35.1	48.0	▲ 31.0	11.6	34.8	53.5	▲ 41.9
村山南部	20.7	30.2	49.1	▲ 28.4	20.7	35.3	44.0	▲ 23.3	17.2	37.1	45.7	▲ 28.5
村山北部	15.9	39.7	44.4	▲ 28.5	14.3	41.3	44.4	▲ 30.1	12.7	38.1	49.2	▲ 36.5
最上	20.6	32.4	47.1	▲ 26.5	14.7	38.2	47.1	▲ 32.4	8.8	41.2	50.0	▲ 41.2
置賜	10.0	28.6	61.4	▲ 51.4	8.6	32.9	58.6	▲ 50.0	8.6	38.6	52.9	▲ 44.3
庄内田川	20.4	31.2	48.4	▲ 28.0	25.8	35.5	38.7	▲ 12.9	9.7	29.0	61.3	▲ 51.6
庄内飽海	16.9	28.1	55.1	▲ 38.2	12.4	30.3	57.3	▲ 44.9	9.0	30.3	60.7	▲ 51.7

(建設業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	12.9	29.8	57.3	▲ 44.4	15.3	36.3	48.4	▲ 33.1	5.6	29.0	65.3	▲ 59.7
村山南部	33.3	9.5	57.1	▲ 23.8	38.1	14.3	47.6	▲ 9.5	19.0	38.1	42.9	▲ 23.9
村山北部	5.6	44.4	50.0	▲ 44.4	0.0	44.4	55.6	▲ 55.6	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7
最上	11.1	50.0	38.9	▲ 27.8	5.6	55.6	38.9	▲ 33.3	11.1	38.9	50.0	▲ 38.9
置賜	0.0	35.3	64.7	▲ 64.7	0.0	47.1	52.9	▲ 52.9	0.0	29.4	70.6	▲ 70.6
庄内田川	14.3	21.4	64.3	▲ 50.0	21.4	32.1	46.4	▲ 25.0	3.6	7.1	89.3	▲ 85.7
庄内飽海	9.1	27.3	63.6	▲ 54.5	18.2	31.8	50.0	▲ 31.8	0.0	36.4	63.6	▲ 63.6

(製造業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	19.7	32.6	47.7	▲ 28.0	18.9	34.8	46.2	▲ 27.3	19.7	34.8	45.5	▲ 25.8
村山南部	22.2	40.7	37.0	▲ 14.8	22.2	40.7	37.0	▲ 14.8	29.6	18.5	51.9	▲ 22.3
村山北部	21.4	28.6	50.0	▲ 28.6	21.4	35.7	42.9	▲ 21.5	21.4	42.9	35.7	▲ 14.3
最上	16.7	16.7	66.7	▲ 50.0	16.7	16.7	66.7	▲ 50.0	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7
置賜	13.0	26.1	60.9	▲ 47.9	8.7	34.8	56.5	▲ 47.8	13.0	34.8	52.2	▲ 39.2
庄内田川	22.2	33.3	44.4	▲ 22.2	22.2	37.0	40.7	▲ 18.5	14.8	33.3	51.9	▲ 37.1
庄内飽海	19.0	38.1	42.9	▲ 23.9	19.0	28.6	52.4	▲ 33.4	23.8	47.6	28.6	▲ 4.8

(卸・小売業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	18.6	34.3	47.1	▲ 28.5	15.7	38.2	46.1	▲ 30.4	8.8	44.1	47.1	▲ 38.3
村山南部	14.7	29.4	55.9	▲ 41.2	8.8	47.1	44.1	▲ 35.3	5.9	50.0	44.1	▲ 38.2
村山北部	25.0	75.0	0.0	25.0	25.0	62.5	12.5	12.5	12.5	50.0	37.5	▲ 25.0
最上	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0
置賜	10.5	36.8	52.6	▲ 42.1	10.5	31.6	57.9	▲ 47.4	5.3	52.6	42.1	▲ 36.8
庄内田川	27.8	44.4	27.8	0.0	38.9	38.9	22.2	16.7	11.1	50.0	38.9	▲ 27.8
庄内飽海	22.2	16.7	61.1	▲ 38.9	5.6	22.2	72.2	▲ 66.6	11.1	16.7	72.2	▲ 61.1

(サービス業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増える	不変	減る	DI
山形県	19.6	28.0	52.3	▲ 32.7	17.8	30.8	51.4	▲ 33.6	11.2	32.7	56.1	▲ 44.9
村山南部	17.6	35.3	47.1	▲ 29.5	20.6	32.4	47.1	▲ 26.5	17.6	38.2	44.1	▲ 26.5
村山北部	11.1	33.3	55.6	▲ 44.5	11.1	33.3	55.6	▲ 44.5	11.1	22.2	66.7	▲ 55.6
最上	60.0	0.0	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
置賜	18.2	9.1	72.7	▲ 54.5	18.2	9.1	72.7	▲ 54.5	18.2	36.4	45.5	▲ 27.3
庄内田川	20.0	30.0	50.0	▲ 30.0	25.0	35.0	40.0	▲ 15.0	10.0	35.0	55.0	▲ 45.0
庄内飽海	17.9	28.6	53.6	▲ 35.7	7.1	35.7	57.1	▲ 50.0	3.6	21.4	75.0	▲ 71.4

図表 I - 6 人員や人手

(全業種)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	足りない	不変	余っている	DI	足りない	不変	余っている	DI	増やす	不変	減らす	DI
山形県	11.4	68.0	20.6	▲ 9.2	12.7	67.1	20.2	▲ 7.5	8.4	71.0	20.6	▲ 12.2
村山南部	14.7	60.3	25.0	▲ 10.3	14.7	62.1	23.3	▲ 8.6	12.1	69.8	18.1	▲ 6.0
村山北部	7.9	66.7	25.4	▲ 17.5	7.9	69.8	22.2	▲ 14.3	9.5	66.7	23.8	▲ 14.3
最上	17.6	70.6	11.8	5.8	23.5	58.8	17.6	5.9	5.9	73.5	20.6	▲ 14.7
置賜	8.6	61.4	30.0	▲ 21.4	8.6	60.0	31.4	▲ 22.8	5.7	72.9	21.4	▲ 15.7
庄内田川	7.5	73.1	19.4	▲ 11.9	12.9	72.0	15.1	▲ 2.2	9.7	66.7	23.7	▲ 14.0
庄内飽海	13.5	77.5	9.0	4.5	12.4	75.3	12.4	0.0	4.5	77.5	18.0	▲ 13.5

(建設業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	足りない	不変	余っている	DI	足りない	不変	余っている	DI	増やす	不変	減らす	DI
山形県	12.9	68.5	18.5	▲ 5.6	16.1	66.9	16.9	▲ 0.8	3.2	72.6	24.2	▲ 21.0
村山南部	19.0	66.7	14.3	4.7	19.0	61.9	19.0	0.0	14.3	61.9	23.8	▲ 9.5
村山北部	11.1	61.1	27.8	▲ 16.7	11.1	72.2	16.7	▲ 5.6	5.6	55.6	38.9	▲ 33.3
最上	11.1	72.2	16.7	▲ 5.6	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0	77.8	22.2	▲ 22.2
置賜	11.8	70.6	17.6	▲ 5.8	11.8	64.7	23.5	▲ 11.7	0.0	76.5	23.5	▲ 23.5
庄内田川	3.6	67.9	28.6	▲ 25.0	14.3	67.9	17.9	▲ 3.6	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0
庄内飽海	22.7	72.7	4.5	18.2	18.2	77.3	4.5	13.7	0.0	86.4	13.6	▲ 13.6

(製造業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	足りない	不変	余っている	DI	足りない	不変	余っている	DI	増やす	不変	減らす	DI
山形県	6.8	59.1	34.1	▲ 27.3	7.6	59.1	33.3	▲ 25.7	8.3	65.2	26.5	▲ 18.2
村山南部	0.0	37.0	63.0	▲ 63.0	0.0	44.4	55.6	▲ 55.6	3.7	59.3	37.0	▲ 33.3
村山北部	7.1	60.7	32.1	▲ 25.0	7.1	60.7	32.1	▲ 25.0	14.3	64.3	21.4	▲ 7.1
最上	0.0	83.3	16.7	▲ 16.7	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0
置賜	4.3	39.1	56.5	▲ 52.2	4.3	43.5	52.2	▲ 47.9	8.7	65.2	26.1	▲ 17.4
庄内田川	3.7	81.5	14.8	▲ 11.1	7.4	74.1	18.5	▲ 11.1	11.1	66.7	22.2	▲ 11.1
庄内飽海	23.8	71.4	4.8	19.0	23.8	71.4	4.8	19.0	4.8	76.2	19.0	▲ 14.2

(卸・小売業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	足りない	不変	余っている	DI	足りない	不変	余っている	DI	増やす	不変	減らす	DI
山形県	5.9	80.4	13.7	▲ 7.8	5.9	80.4	13.7	▲ 7.8	7.8	75.5	16.7	▲ 8.9
村山南部	5.9	79.4	14.7	▲ 8.8	5.9	82.4	11.8	▲ 5.9	5.9	82.4	11.8	▲ 5.9
村山北部	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
最上	40.0	60.0	0.0	40.0	40.0	60.0	0.0	40.0	20.0	80.0	0.0	20.0
置賜	0.0	78.9	21.1	▲ 21.1	0.0	73.7	26.3	▲ 26.3	5.3	73.7	21.1	▲ 15.8
庄内田川	11.1	77.8	11.1	0.0	11.1	83.3	5.6	5.5	22.2	55.6	22.2	0.0
庄内飽海	0.0	83.3	16.7	▲ 16.7	0.0	77.8	22.2	▲ 22.2	0.0	72.2	27.8	▲ 27.8

(サービス業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	足りない	不変	余っている	DI	足りない	不変	余っている	DI	増やす	不変	減らす	DI
山形県	20.6	66.4	13.1	7.5	21.5	64.5	14.0	7.5	15.0	72.0	13.1	1.9
村山南部	32.4	55.9	11.8	20.6	32.4	55.9	11.8	20.6	23.5	70.6	5.9	17.6
村山北部	11.1	66.7	22.2	▲ 11.1	11.1	66.7	22.2	▲ 11.1	11.1	66.7	22.2	▲ 11.1
最上	40.0	60.0	0.0	40.0	40.0	60.0	0.0	40.0	20.0	80.0	0.0	20.0
置賜	27.3	63.6	9.1	18.2	27.3	63.6	9.1	18.2	9.1	81.8	9.1	0.0
庄内田川	15.0	65.0	20.0	▲ 5.0	20.0	65.0	15.0	5.0	10.0	65.0	25.0	▲ 15.0
庄内飽海	7.1	82.1	10.7	▲ 3.6	7.1	75.0	17.9	▲ 10.8	10.7	75.0	14.3	▲ 3.6

図表 I - 7 資金繰り

(全業種)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になる	不変	厳しい	DI
山形県	8.0	53.5	38.5	▲ 30.5	6.7	57.4	35.9	▲ 29.2	3.2	48.8	48.0	▲ 44.8
村山南部	5.2	62.1	32.8	▲ 27.6	6.9	58.6	34.5	▲ 27.6	2.6	53.4	44.0	▲ 41.4
村山北部	12.7	49.2	38.1	▲ 25.4	7.9	60.3	31.7	▲ 23.8	3.2	54.0	42.9	▲ 39.7
最上	8.8	23.5	67.6	▲ 58.8	2.9	41.2	55.9	▲ 53.0	0.0	29.4	70.6	▲ 70.6
置賜	4.3	52.9	42.9	▲ 38.6	4.3	55.7	40.0	▲ 35.7	4.3	45.7	50.0	▲ 45.7
庄内田川	6.5	54.8	38.7	▲ 32.2	5.4	60.2	34.4	▲ 29.0	2.2	48.4	49.5	▲ 47.3
庄内飽海	12.4	56.2	31.5	▲ 19.1	10.1	58.4	31.5	▲ 21.4	5.6	49.4	44.9	▲ 39.3

(建設業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になる	不変	厳しい	DI
山形県	5.6	50.0	44.4	▲ 38.8	5.6	57.3	37.1	▲ 31.5	1.6	35.5	62.9	▲ 61.3
村山南部	4.8	66.7	28.6	▲ 23.8	4.8	66.7	28.6	▲ 23.8	0.0	52.4	47.6	▲ 47.6
村山北部	0.0	44.4	55.6	▲ 55.6	0.0	61.1	38.9	▲ 38.9	0.0	22.2	77.8	▲ 77.8
最上	11.1	16.7	72.2	▲ 61.1	0.0	44.4	55.6	▲ 55.6	0.0	27.8	72.2	▲ 72.2
置賜	0.0	58.8	41.2	▲ 41.2	0.0	64.7	35.3	▲ 35.3	0.0	35.3	64.7	▲ 64.7
庄内田川	3.6	53.6	42.9	▲ 39.3	7.1	57.1	35.7	▲ 28.6	0.0	35.7	64.3	▲ 64.3
庄内飽海	13.6	54.5	31.8	▲ 18.2	18.2	50.0	31.8	▲ 13.6	9.1	36.4	54.5	▲ 45.4

(製造業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になる	不変	厳しい	DI
山形県	6.8	54.5	38.6	▲ 31.8	5.3	58.3	36.4	▲ 31.1	5.3	51.5	43.2	▲ 37.9
村山南部	7.4	48.1	44.4	▲ 37.0	7.4	48.1	44.4	▲ 37.0	3.7	48.1	48.1	▲ 44.4
村山北部	10.7	57.1	32.1	▲ 21.4	3.6	67.9	28.6	▲ 25.0	7.1	64.3	28.6	▲ 21.5
最上	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3	0.0	16.7	83.3	▲ 83.3
置賜	4.3	34.8	60.9	▲ 56.6	4.3	34.8	60.9	▲ 56.6	4.3	39.1	56.5	▲ 52.2
庄内田川	3.7	63.0	33.3	▲ 29.6	0.0	70.4	29.6	▲ 29.6	3.7	51.9	44.4	▲ 40.7
庄内飽海	9.5	71.4	19.0	▲ 9.5	14.3	66.7	19.0	▲ 4.7	9.5	61.9	28.6	▲ 19.1

(卸・小売業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になる	不変	厳しい	DI
山形県	7.8	64.7	27.5	▲ 19.7	5.9	63.7	30.4	▲ 24.5	2.0	59.8	38.2	▲ 36.2
村山南部	2.9	73.5	23.5	▲ 20.6	2.9	64.7	32.4	▲ 29.5	2.9	52.9	44.1	▲ 41.2
村山北部	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0
最上	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	20.0	20.0	60.0	▲ 40.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
置賜	5.3	68.4	26.3	▲ 21.0	5.3	73.7	21.1	▲ 15.8	0.0	63.2	36.8	▲ 36.8
庄内田川	11.1	61.1	27.8	▲ 16.7	5.6	72.2	22.2	▲ 16.6	5.6	66.7	27.8	▲ 22.2
庄内飽海	5.6	66.7	27.8	▲ 22.2	0.0	61.1	38.9	▲ 38.9	0.0	55.6	44.4	▲ 44.4

(サービス業)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になった	不変	厳しい	DI	楽になる	不変	厳しい	DI
山形県	12.1	45.8	42.1	▲ 30.0	10.3	50.5	39.3	▲ 29.0	3.7	50.5	45.8	▲ 42.1
村山南部	5.9	58.8	35.3	▲ 29.4	11.8	55.9	32.4	▲ 20.6	2.9	58.8	38.2	▲ 35.3
村山北部	33.3	33.3	33.3	0.0	22.2	44.4	33.3	▲ 11.1	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3
最上	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0
置賜	9.1	54.5	36.4	▲ 27.3	9.1	54.5	36.4	▲ 27.3	18.2	45.5	36.4	▲ 18.2
庄内田川	10.0	40.0	50.0	▲ 40.0	10.0	40.0	50.0	▲ 40.0	0.0	45.0	55.0	▲ 55.0
庄内飽海	17.9	39.3	42.9	▲ 25.0	7.1	57.1	35.7	▲ 28.6	3.6	46.4	50.0	▲ 46.4

図表 I - 8 在庫状況（製造業、卸・小売業）

（製造業）

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増やす	不変	減らす	DI
山形県	9.8	65.2	25.0	▲ 15.2	10.6	64.4	25.0	▲ 14.4	2.3	64.4	33.3	▲ 31.0
村山南部	18.5	63.0	18.5	0.0	14.8	70.4	14.8	0.0	3.7	59.3	37.0	▲ 33.3
村山北部	10.7	64.3	25.0	▲ 14.3	14.3	60.7	25.0	▲ 10.7	3.6	60.7	35.7	▲ 32.1
最上	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3
置賜	8.7	60.9	30.4	▲ 21.7	4.3	65.2	30.4	▲ 26.1	0.0	73.9	26.1	▲ 26.1
庄内田川	7.4	70.4	22.2	▲ 14.8	7.4	66.7	25.9	▲ 18.5	3.7	55.6	40.7	▲ 37.0
庄内飽海	4.8	71.4	23.8	▲ 19.0	14.3	61.9	23.8	▲ 9.5	0.0	76.2	23.8	▲ 23.8

（卸・小売業）

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増やす	不変	減らす	DI
山形県	7.8	67.6	24.5	▲ 16.7	8.8	65.7	25.5	▲ 16.7	1.0	59.8	39.2	▲ 38.2
村山南部	8.8	73.5	17.6	▲ 8.8	11.8	67.6	20.6	▲ 8.8	0.0	64.7	35.3	▲ 35.3
村山北部	0.0	62.5	37.5	▲ 37.5	0.0	75.0	25.0	▲ 25.0	12.5	50.0	37.5	▲ 25.0
最上	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
置賜	10.5	63.2	26.3	▲ 15.8	10.5	57.9	31.6	▲ 21.1	0.0	57.9	42.1	▲ 42.1
庄内田川	5.6	61.1	33.3	▲ 27.7	11.1	66.7	22.2	▲ 11.1	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3
庄内飽海	11.1	72.2	16.7	▲ 5.6	5.6	66.7	27.8	▲ 22.2	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0

図表 I - 9 手持工事高（建設業）

（建設業）

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI	増えた	不変	減った	DI
山形県	16.9	34.7	48.4	▲ 31.5	22.6	33.9	43.5	▲ 20.9	8.1	30.6	61.3	▲ 53.2
村山南部	28.6	33.3	38.1	▲ 9.5	38.1	33.3	28.6	9.5	19.0	28.6	52.4	▲ 33.4
村山北部	11.1	44.4	44.4	▲ 33.3	16.7	27.8	55.6	▲ 38.9	5.6	27.8	66.7	▲ 61.1
最上	11.1	38.9	50.0	▲ 38.9	22.2	44.4	33.3	▲ 11.1	11.1	38.9	50.0	▲ 38.9
置賜	11.8	41.2	47.1	▲ 35.3	17.6	29.4	52.9	▲ 35.3	5.9	23.5	70.6	▲ 64.7
庄内田川	14.3	21.4	64.3	▲ 50.0	21.4	32.1	46.4	▲ 25.0	3.6	21.4	75.0	▲ 71.4
庄内飽海	22.7	36.4	40.9	▲ 18.2	18.2	36.4	45.5	▲ 27.3	4.5	45.5	50.0	▲ 45.5

図表 I - 1 0 原材料仕入価格（製造業）

(%)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	下がった	不変	上がった	DI	下がった	不変	上がった	DI	下がる	不変	上がる	DI
山形県	3.8	20.5	75.8	▲ 72.0	6.1	37.1	56.8	▲ 50.7	10.6	56.8	32.6	▲ 22.0
村山南部	7.4	29.6	63.0	▲ 55.6	14.8	33.3	51.9	▲ 37.1	14.8	55.6	29.6	▲ 14.8
村山北部	0.0	21.4	78.6	▲ 78.6	3.6	46.4	50.0	▲ 46.4	7.1	64.3	28.6	▲ 21.5
最上	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	16.7	66.7	16.7	0.0
置賜	4.3	21.7	73.9	▲ 69.6	4.3	30.4	65.2	▲ 60.9	13.0	47.8	39.1	▲ 26.1
庄内田川	7.4	7.4	85.2	▲ 77.8	7.4	37.0	55.6	▲ 48.2	7.4	48.1	44.4	▲ 37.0
庄内飽海	0.0	19.0	81.0	▲ 81.0	0.0	33.3	66.7	▲ 66.7	9.5	66.7	23.8	▲ 14.3

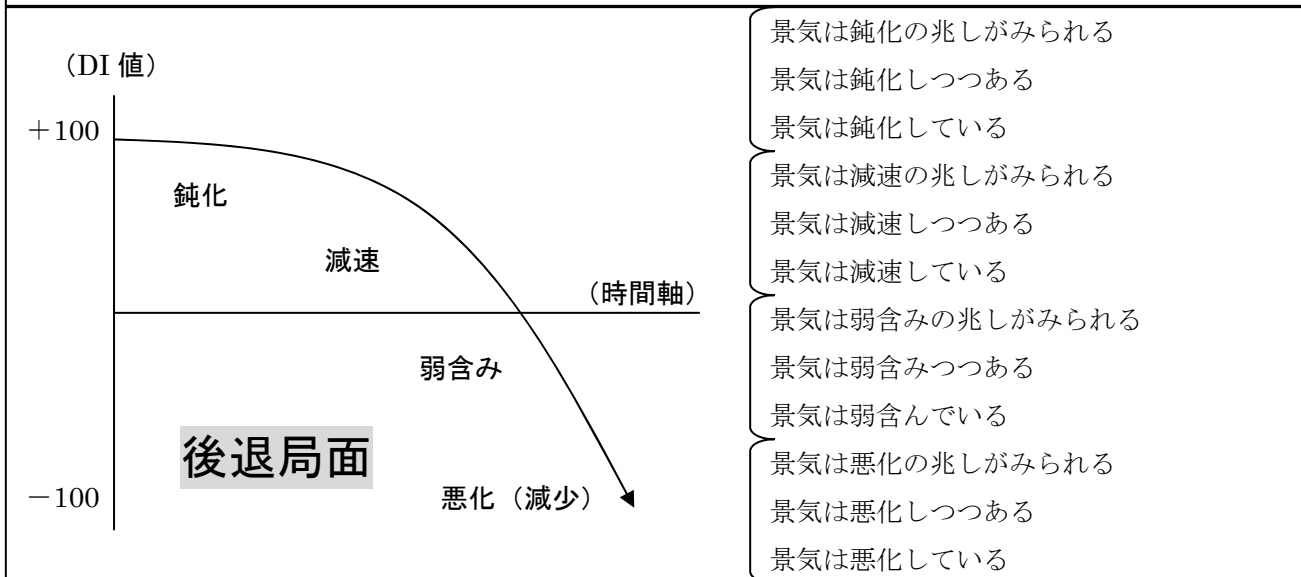
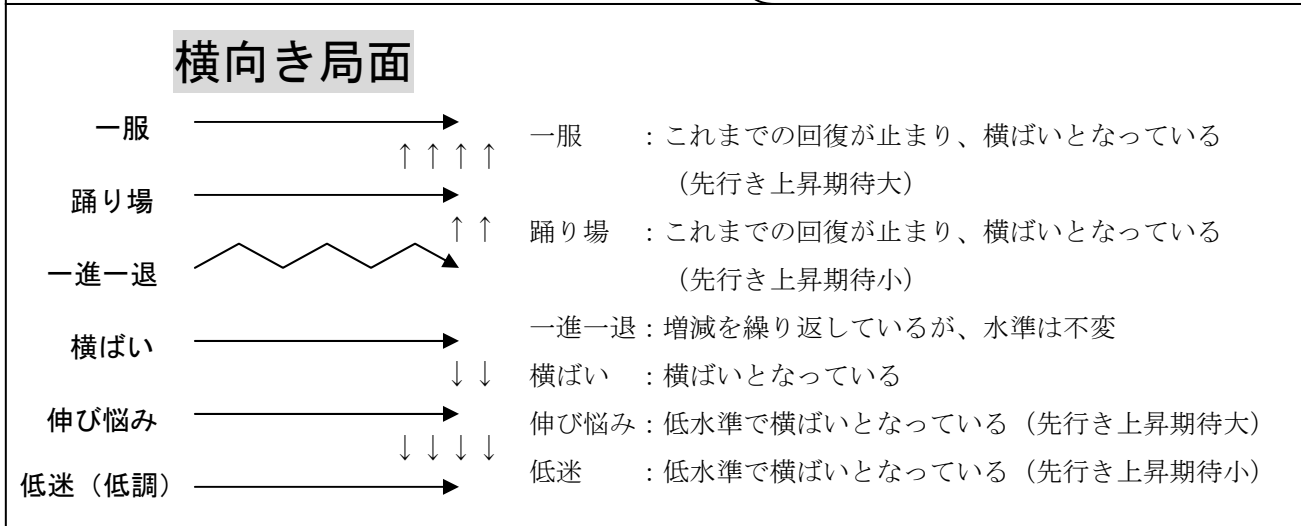
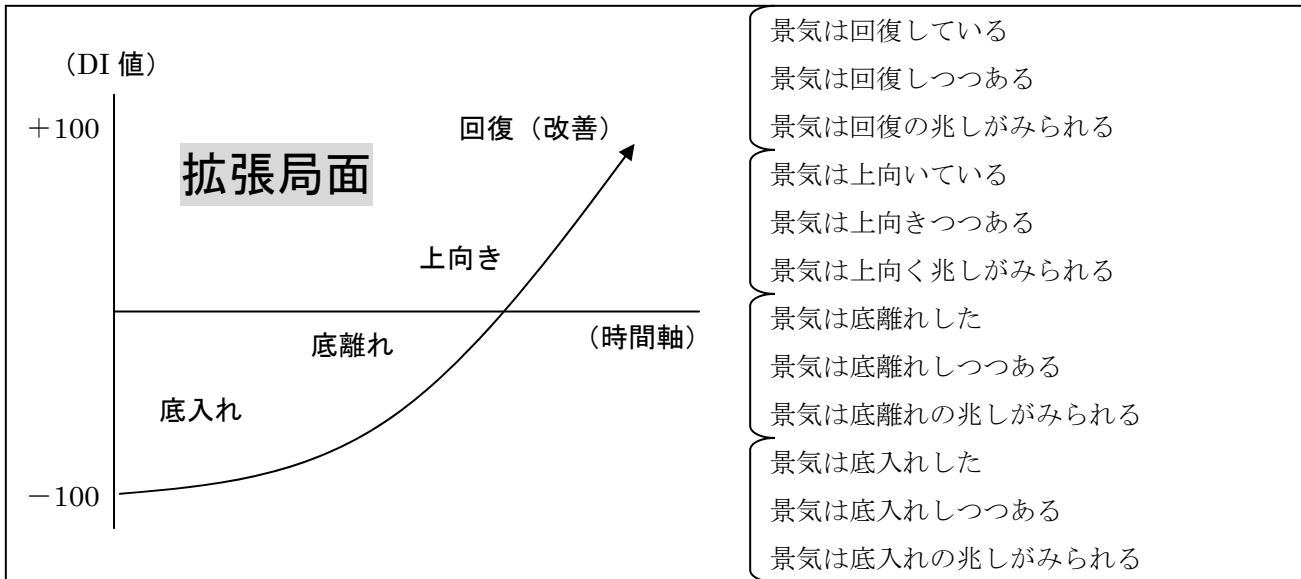
図表 I - 1 1 製（商）品の仕入価格（卸・小売業）

(%)

	前年同期比				前期比				来期見通し			
	下がった	不変	上がった	DI	下がった	不変	上がった	DI	下がる	不変	上がる	DI
山形県	8.8	26.5	64.7	▲ 55.9	12.7	29.4	57.8	▲ 45.1	11.8	52.9	35.3	▲ 23.5
村山南部	0.0	38.2	61.8	▲ 61.8	0.0	38.2	61.8	▲ 61.8	2.9	58.8	38.2	▲ 35.3
村山北部	12.5	25.0	62.5	▲ 50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0
最上	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0	0.0	60.0	40.0	▲ 40.0
置賜	31.6	10.5	57.9	▲ 26.3	42.1	15.8	42.1	0.0	21.1	47.4	31.6	▲ 10.5
庄内田川	11.1	33.3	55.6	▲ 44.5	11.1	33.3	55.6	▲ 44.5	11.1	50.0	38.9	▲ 27.8
庄内飽海	0.0	16.7	83.3	▲ 83.3	5.6	16.7	77.8	▲ 72.2	16.7	50.0	33.3	▲ 16.6

＜参考資料Ⅱ：基調判断用語の凡例＞

使用例：景気



<参考資料Ⅲ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査時期ならびに結果公表のスケジュール

図表Ⅲ-1の通り。

図表Ⅲ-1 調査時期・結果公表のスケジュール

調査の対象 ^[注1]	調査時期	公表(速報版 ^[注2])	公表(確報版)
前年10-12月期	2月	2月下旬	—
1-3月期	5月	5月下旬	6月
4-6月期	8月	8月下旬	—
7-9月期	11月	11月下旬	12月

(注1) 回答はすべて直近の四半期決算をベースに依頼している。調査の対象となった企業によっては決算期が異なる場合もあるが、レポートをまとめるにあたっては決算期を表3-1に掲載した「調査の対象」に統一している。

(注2) 「速報版」とは、アンケート調査の結果を単純集計したものを指し、ヒアリング調査や各種分析結果を含まない内容のこと。「確報版」とは、アンケート調査とヒアリング調査の結果を踏まえて、当社が独自に分析した結果を報告するものを指す。

● 調査対象企業

オンライン調査は894社、ヒアリング調査は22社である。

● 業種分類

建設業、製造業、卸・小売業、サービス業の4業種である。

● 地域区分

図表Ⅲ-2の通り。

図表Ⅲ-2 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。定例調査の項目は図表Ⅲ-3の通り。

図表Ⅲ-3 定例調査項目と回答の選択肢

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注3）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向（良くなっているか、悪くなっているか）についても分かる。

ちなみに、他のD I 値についても同様に、選択肢「1. 」(表4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。
(以上)

<お問い合わせ先>

株式会社荘銀総合研究所・研究開発グループ 熊本／齋藤（信）
〒990-0043 山形県山形市本町1-4-2 1 荘銀山形ビル8 F
TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038
E-mail : kenkyuu@sfsi.co.jp URL : http://www.sfsi.co.jp/